



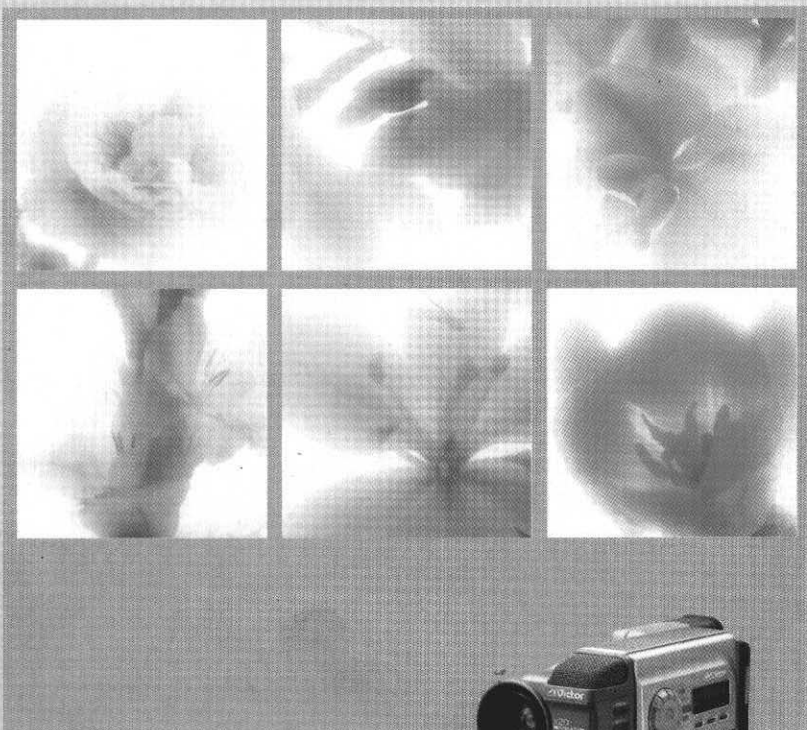
Victor

VHSビデオムービー

GR-SZ3

Hi-Fi

SVHS-C



はじめに

基本編

応用編

その他

取扱説明書 お買い上げいただきありがとうございます。

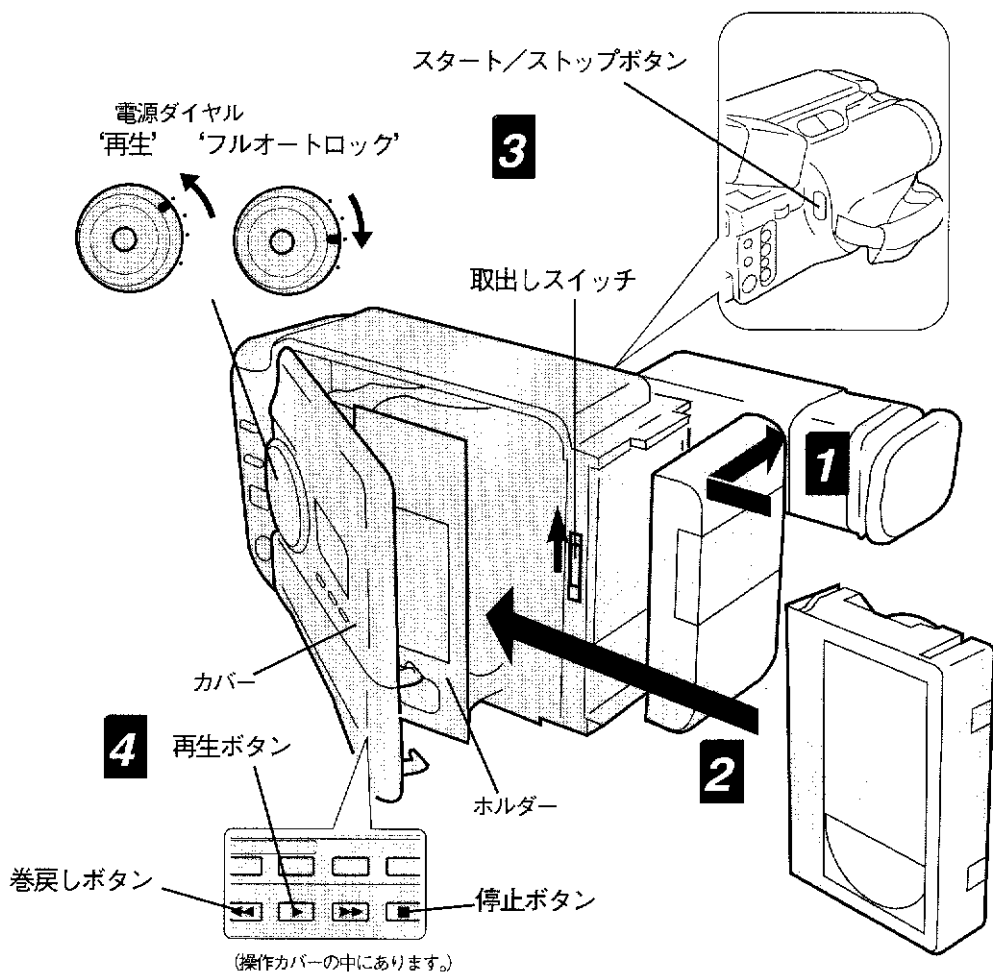
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。



私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

いますぐに撮影したい

お買い求め後、操作のご確認をしてください。



1 電源の準備

バッテリーパックを充電し、ムービーに取り付ける (12)

2 テープを入れる

- 1 取出しスイッチを矢印方向に押す
●マークを開の位置に合わせ、カバーを開けます。
- 2 もう一度押しホルダーを開ける
●マークを取出しの位置に合わせるとホルダーが開きます。
- 3 テープを入れる
- 4 ホルダーを閉めカバーを閉める

3 撮る

- 1 電源ダイヤルを‘フルオートロック’にする
- 2 スタート/ストップボタンを押す
●撮影を始めます。
●もう一度押すと撮影一時停止になります。

4 見る

- 1 電源ダイヤルを‘再生’にする
- 2 巻戻しボタンを押す
●テープの始めまで巻戻すと自動的に止まります。
- 3 再生ボタンを押す
●ビューファインダー内に映像が出ます。
●再生をやめるには停止ボタンを押します。

この説明書の見方は

12 ~ 39 が準備と基本的な使い方です。基本編に慣れたら応用編 (40 ~ 63) へと進みます。

ページを探すときは

もくじ (4 ~ 5) のタイトルは、主に‘どんな動作をしたいか’を表しています。

カタログなどに載っている機能名で探したいときは、用語の解説 (70 ~ 71) でも知ることができます。

説明書に出てくるマークは

 は知っていると便利な操作や説明です。

 は正しくお使いいただくためのご注意です。

 はその数のページをあわせて参照ください。

ページ タイトル

はじめに

- 2 いますぐ撮影したい
- 6 各部のなまえ
- 10 メニュー表示と使い方

12

準備



- 12 ●バッテリーパックを充電する (チャージピット充電) / 取り付け/取り外しする
- 14 ●その他の電源
- 16 ●アクセサリ (別売) を取り付ける
- 17 ●リチウム電池を入れる ムービー/リモコン (付属)
- 18 ●日時を合わせる
- 20 ●グリップ部/ビューファインダーを調節する
- 22 ●よりよい撮影のために 撮影時のモードをきめる (S VHS/VHS SP/EP) / 雑音の多いところでは
- 23 ●テープを出し入れする

24

撮る



- 25 ●フルオートロック、マニュアル撮影について
- 26 ●手振れ補正して撮る
- 27 ●地面撮り防止
- 28 ●被写体の大きさを変える (標準ズーム、20倍デジタルズーム、ワイド撮影、マクロ撮影)
- 30 ●撮り直しをする

32

見る



- 33 ●画面にノイズが出てきたら
- 34 ●早送り/巻戻ししながら見る
- 35 ●同じ場面を見る
- 36 ●テレビで見る

40

テクニック



- 40 いろいろなシーンに合わせて撮る シーンダイヤル
- 42 フェードイン/アウトしながら撮る / ワイプフェーダー
- 44 映画の画面サイズに撮る シネマモード
- 45 日時を入れて撮る
- 48 ピントを合わせる



応用編

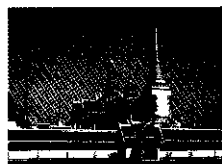
- 5 0 画像の明るさを合わせる
- 5 2 ムービーを置いて自動で撮る オートパンニングシステム
- 5 3 横長テレビに対応して撮る スクイーズモード



54 編集

- 5 4 ●ダビング編集 (自動編集、他)
- 6 0 ●途中に新しく別の映像を入れる インサート編集
- 6 2 ●声だけ入れ替える アフレコ編集

- 6 4 ご注意
- 6 7 お手入れについて
- 6 8 故障かな?と思ったら
- 7 0 用語の解説
- 7 2 海外でお使いになるには
- 7 4 保証とアフターサービス
- 7 5 ビューファインダーの表示
- 裏表紙 主な仕様



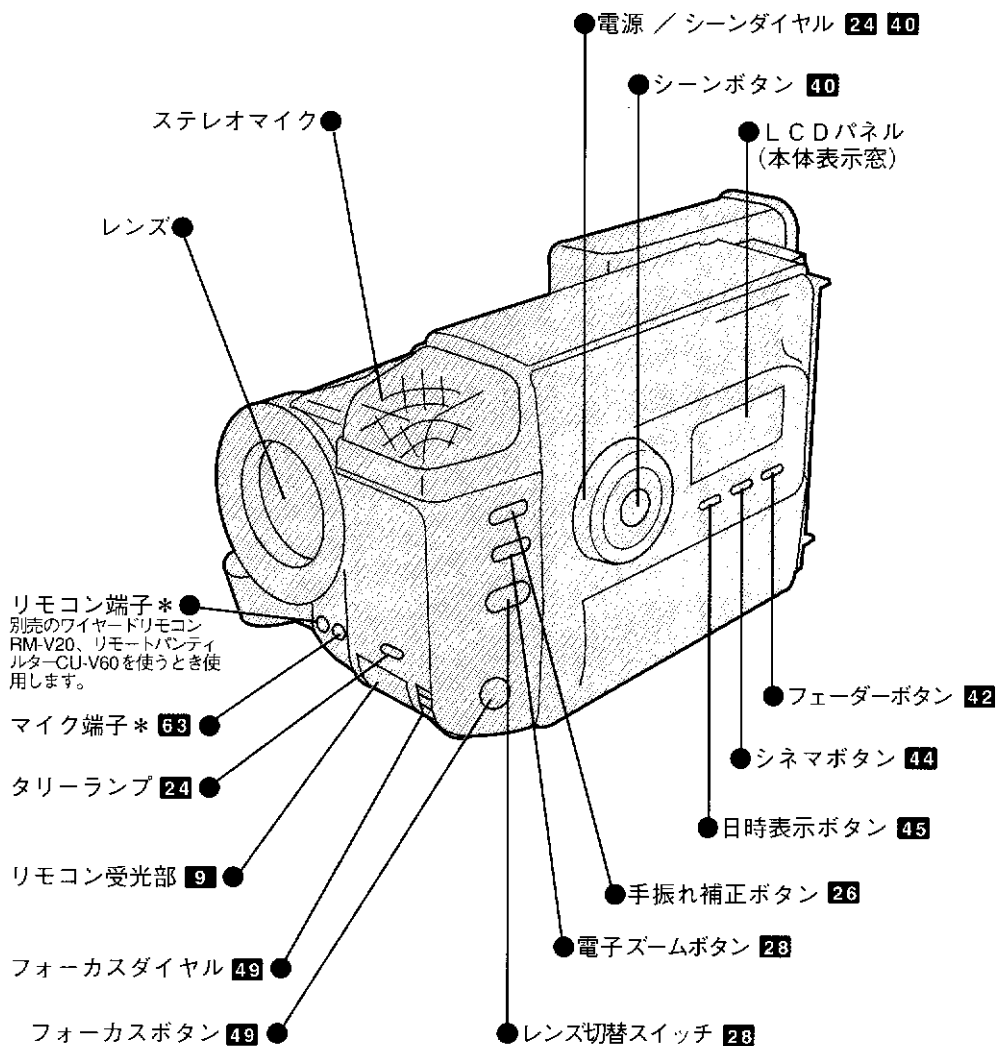
ご使用の前に知っておいてください

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- このムービーはS-VHS方式です。**S-VHS**マーク、**VHS**マークの付いたコンパクトビデオテープをご使用ください。

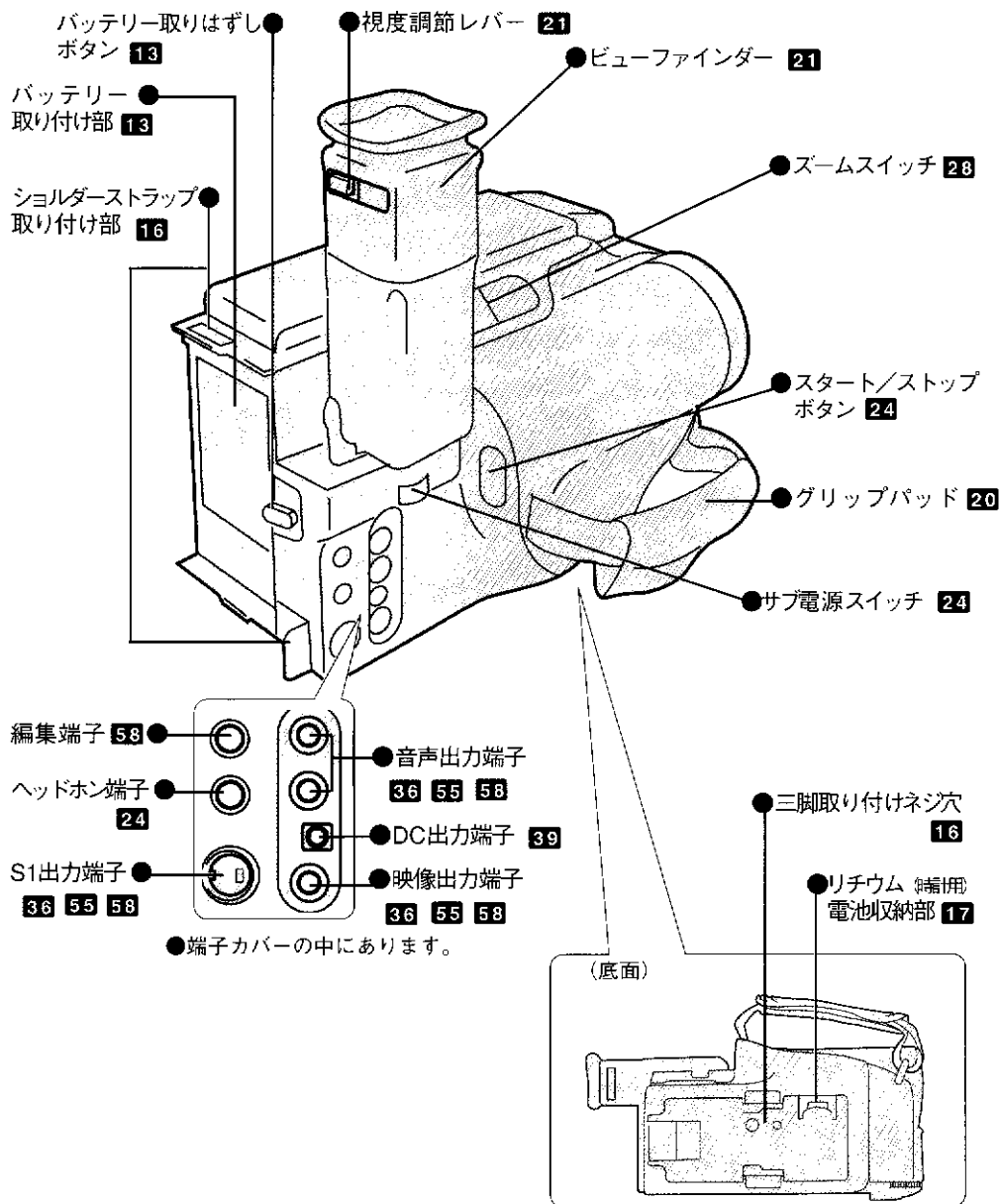
各部のなまえ

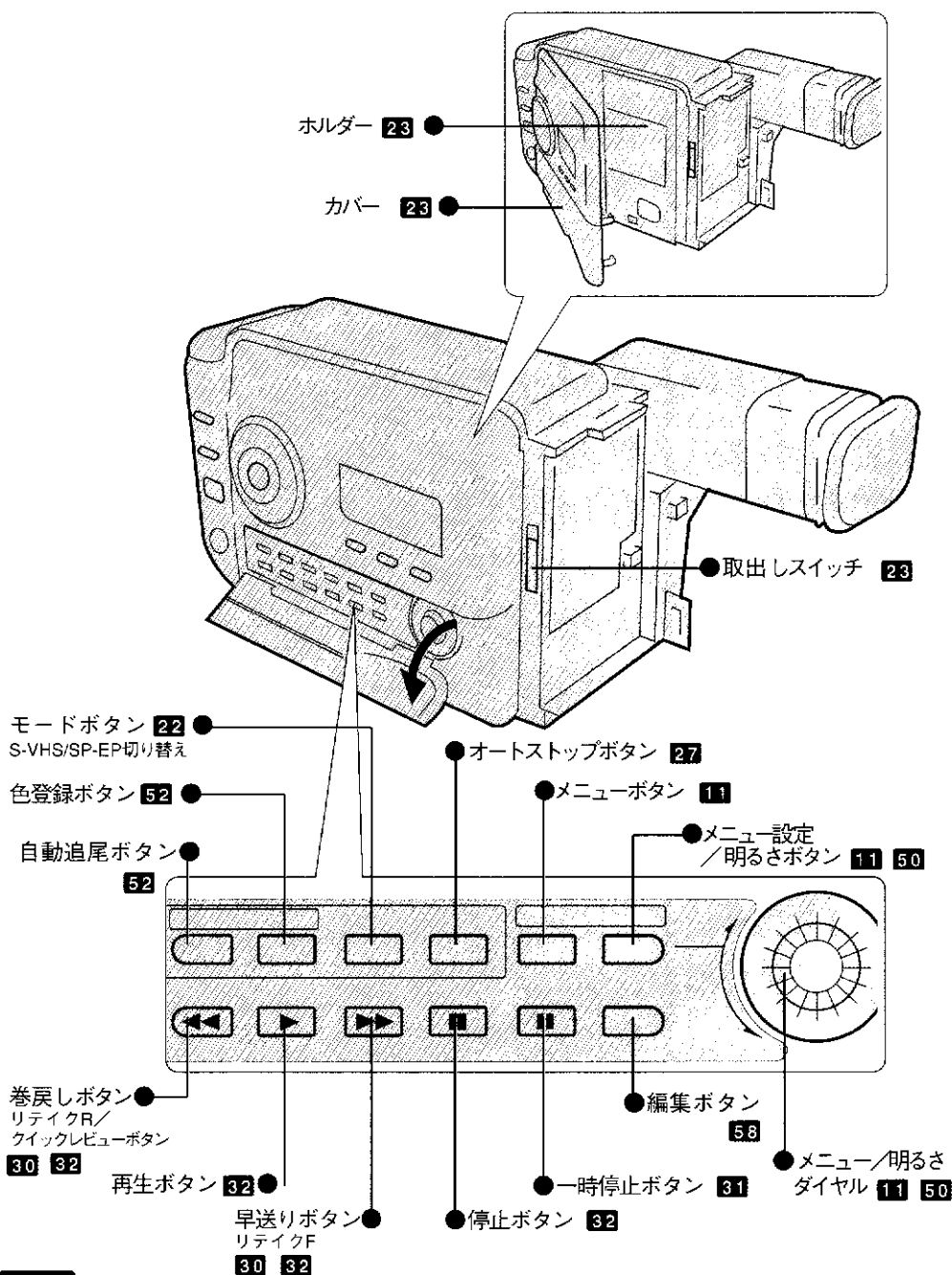
■ のページに説明があります。

ムービー



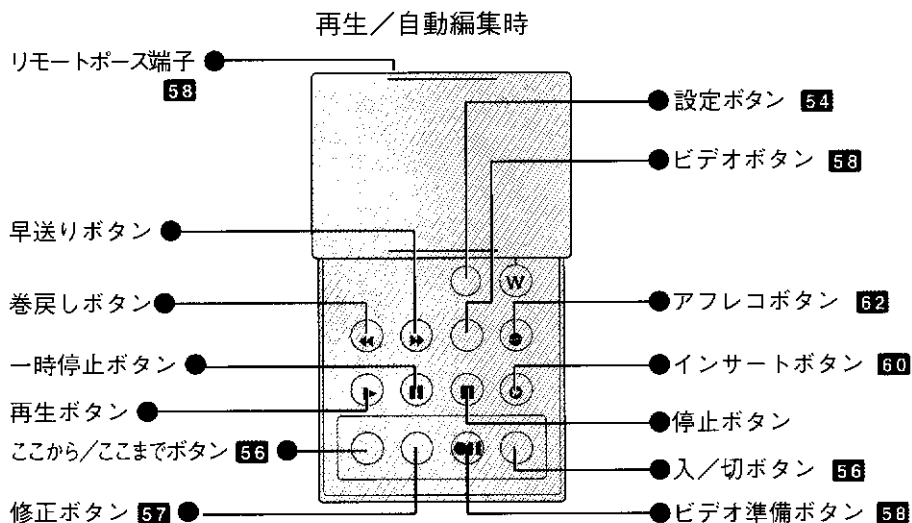
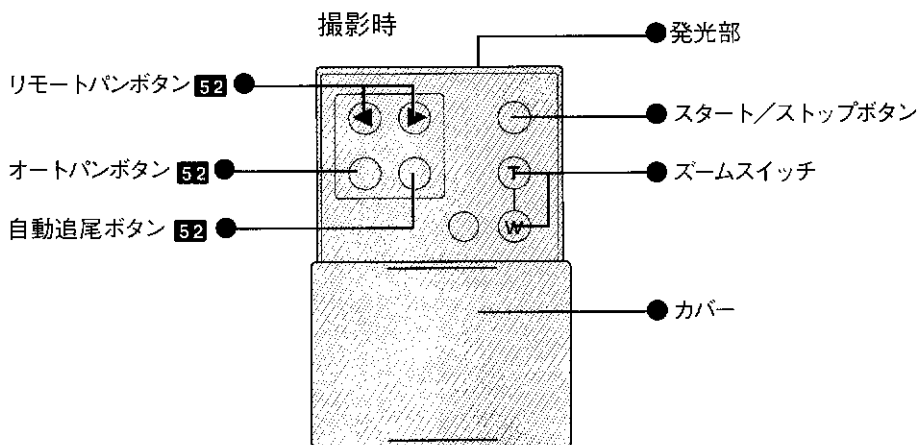
*リモコン端子、マイク端子は端子カ
バーの中にあります。



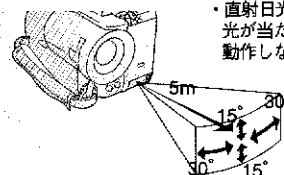


リモコン

●ムービーと同名のボタンは同じ動きをします。



使用可能範囲は



・直射日光や照明器具の強い光が当たると誤動作したり動作しないことがあります。

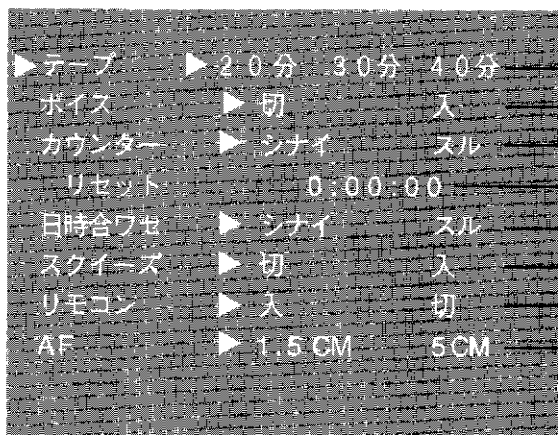
- ・リモコンの裏側のクリップを胸ポケットやベルトにはさむことができます。
- ・カバーをスライドさせて撮影時と再生/自動編集時と使い分けれます。



メニュー表示と使い方

撮影メニュー

撮影時に必要な設定ができます。電源ダイヤル‘フルオートロック’にしてください。



テープ選択 **25**

ボイスポジション **22**

カウンターリセット

テープカウンター

日時合わせ **18**

スキーズ **53**

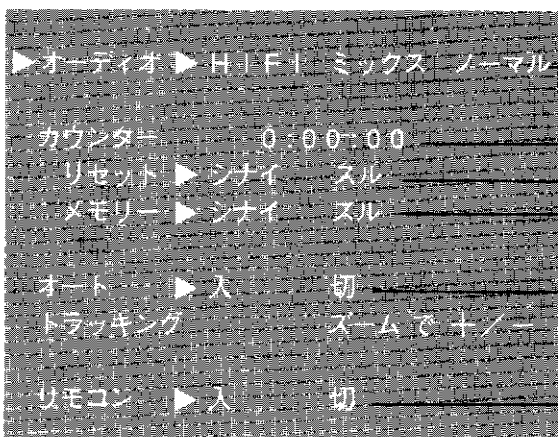
リモコン **57**

AF距離 **48**

(オートフォーカス至近距離設定)
レンズ前面に水滴などが付くとそこにピントが合ってしまいます。このようなとき5CMにしてください。

再生メニュー

再生時に必要な設定ができます。電源ダイヤル‘再生’にしてください。



音声出力切替 **33**

テープカウンター **35**

カウンターリセット **35**

カウンターメモリー **35**

トラッキング自動／手動 **33**

リモコン **61**



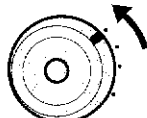
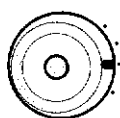
音声出力切替とリモコンで選んだものは撮影時にも保たれています。またリモコン切にするとワイヤードリモコンRM-V20 (別売) も使えなくなります。

メニューで設定した内容は電源ユニット (リッパリーパックなど) を外してもリチウム電池で記憶しています。

メニューの使い方

‘フルオートロック’

‘再生’



電源ダイヤル

1

設定ボタン

4

メニューボタン

2

メニューダイヤル

3

- 1** 電源ダイヤルを撮影についての設定は‘フルオートロック’再生についての設定は‘再生’にする

- 2** メニューボタンを押す
●ビューファインダー内にメニューが出ます。

- 3** メニューダイヤルで希望の項目にする

●▶を希望の項目に合わせます。

- 4** 設定ボタンで希望の機能にする

●▶を希望の機能に合わせます。

終わったら
メニューボタンを押す
●メニューが消えます。

例. 日時合わせをするとき
(撮影メニュー)

メニューダイヤルで動かします

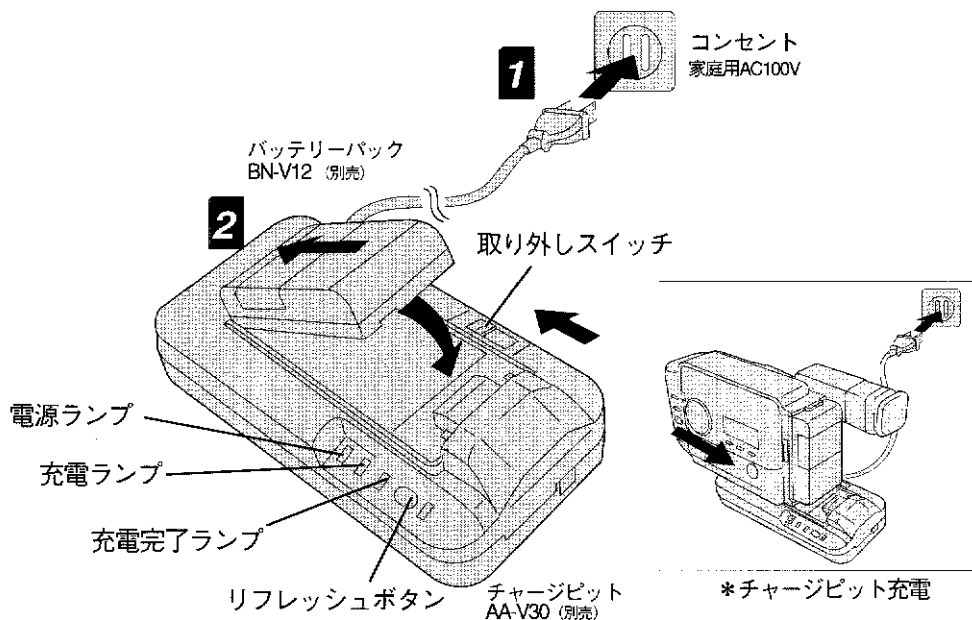
設定ボタンで動かします





バッテリーパックを充電する

出荷時は充電されていません。
チャージビットの取扱説明書もお読みください。



1 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源ランプが点灯します。

2 バッテリーパックをカチッと音がするまで押し込む

- 充電ランプが点灯し、充電を始めます。
- 充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら終わりです。

バッテリーパックを外すには
取り外しスイッチを矢印方向に
スライドさせ外す

- 電源プラグを抜いてください。

バッテリーパック充電時間の目安表		
バッテリーパック	直接充電	本体充電
BN-V12	約50分	約2時間30分
BN-V22	約1時間40分	約5時間10分
BN-V60	約1時間40分	約5時間10分



チャージビット充電しておけばいつでも撮影できます *
バッテリーパックの付いたムービーをチャージビットのミゾに合わせて置き矢印方向に突き当たるまでスライドさせて付けます。充電完了ランプが点灯したら終わりです。

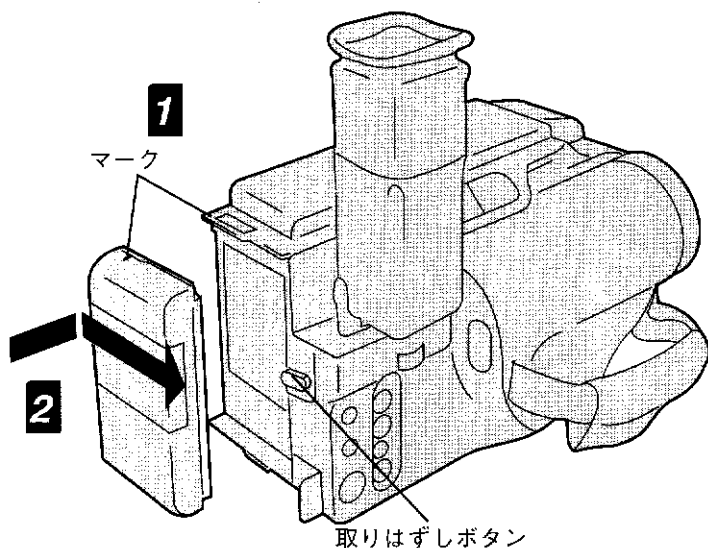
バッテリーパックの特性をいかすリフレッシュ機能は5回の充電に1回使うことをおすすめします。(15)



ニッケル水素バッテリー-BN-V50 (別売) は使用できません。

取り付け／取り外しする

屋外などの撮影に便利です。その他、次ページの屋内用や車で使える電源類もあります。



1 マークを合わせて押し込む

2 バッテリーパックを矢印方向に
カチッと音がするまでスライド
させる

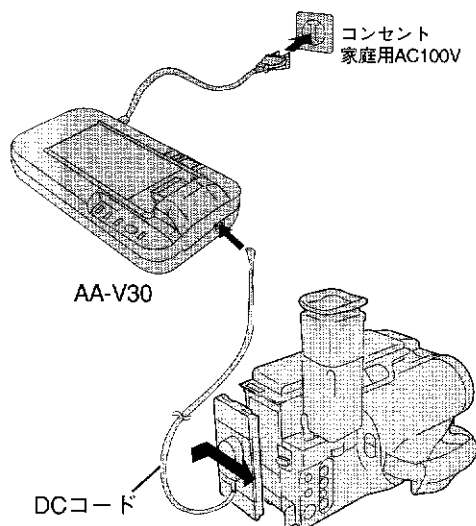
外すには
取りはずしボタンを押しながら
取り付けと逆方向に外す

その他の電源は
次のページです。

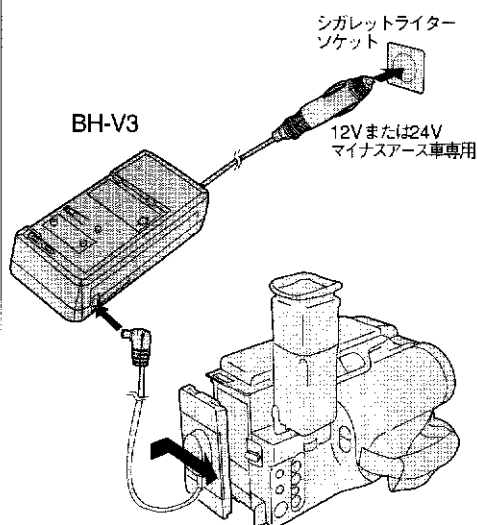
その他の電源

屋内ではチャージピット AA-V30 (別売) を、車ではカーバッテリーチャージャー BH-V3 (別売) を使用します。

屋内



車で



チャージピット AA-V30 はDCコード (付属) を使えばチャージピットを通して家庭のコンセントから直接電源を利用できます。

- バッテリーパックの充電もできます。
- AC (交流) 100~240V、50 / 60 Hz 仕様です。海外でも使用できます。(72)
- 取り付け/取り外しはバッテリーパックと同じです。

カーバッテリーチャージャー BH-V3 は車のシガレットライターソケットからムービーへ電源を送ります。

- バッテリーパックの充電もできます。
- 日本車、米国車、欧州車対応です。
- 取り付け/取り外しはバッテリーパックと同じです。
- 電源供給のみのカーバッテリーコード AP-V7 (別売) もあります。

バッテリーパックは上手な充電と使い方で長持ちさせます。

屋外

バッテリーパック (別売) BN-V12, BN-V22, BN-V60 などを使います。
(バッテリーパックの充電時間と連続撮影時間は裏表紙の主な仕様をご覧ください。)

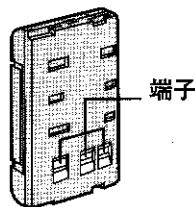
上手な充電と使い方

使用前に充電を！

- バッテリーパックは使用しなくても自己放電する特性があります。
したがって充電せずに出荷しています。使用する直前が前日に充電してください。
- 充電するときの周囲温度は、10～35℃の温度範囲でおこなってください。

バッテリーパックは完全に使いきってから充電を！

完全に使いきる → 充電 → 完全に使いきる → 充電



- 使いきらなで充電するとバッテリーパックの容量低下の原因になります。
一度使いきって充電してください。
(残っているときは、リフレッシュ機能付き充電器AA-V30 (別売) で5回につき1回放電させます。
リフレッシュ機能付きバッテリーパックBN-V60 (別売) もあります。)
- 充電したバッテリーパックを持ち運ぶときはビニール袋で包むなどして、端子にキーホルダーやネックレスなどの金属類が触れぬようにしてください。事故の原因になります。

使用時間が短くなってきたら

バッテリーパックには寿命があります！

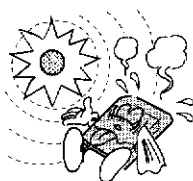
- 長時間 (約1年) 保存されたバッテリーパックは、はじめ使用時間が若干短めです。
充電と放電 (使いきる) を数回繰り返すとバッテリーパックの容量が回復します。
(完全に使いきる → 充電) を繰り返しても使用時間が短いときは寿命がきていますので新しいバッテリーパックをお求めください。

次の場合にも撮影時間が短くなります。

- 寒冷地など温度の低いところでの撮影
- ズームングをして撮影

正しい保存のしかた

- 温度が上がらない乾燥した場所に置いてください。
(高温の場所では寿命が短くなり、自己放電も多くなります。)
- 電源を切っても微小電流が流れています。長時間使用しないときは機器から外してください。
- 長時間使用しないときは放電して保存してください。

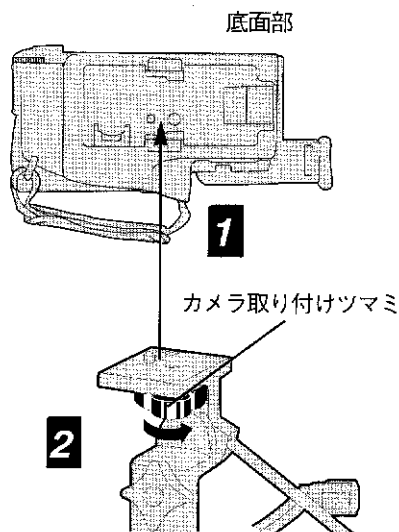




アクセサリー (別売) を取り付ける

手振れのない安定した映像のために三脚をお使いになることをおすすめします。
また、ショルダーストラップはお出かけのとき持ち運びに便利です。

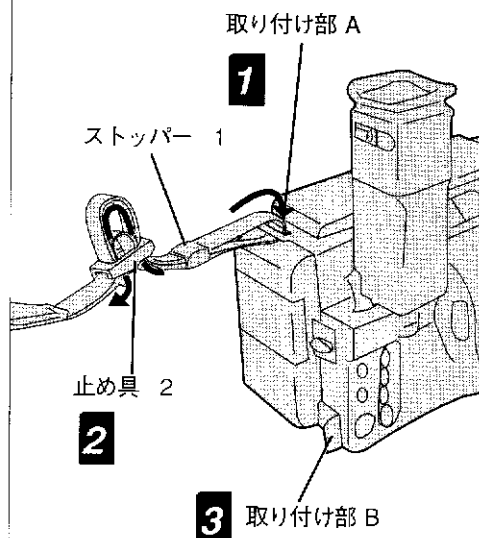
三脚の取り付け方



1 ムービーと三脚の回転ストッパー
および取り付けネジを合わせる

2 三脚のカメラ取り付けツマミ
を矢印方向にまわして締める

ショルダーストラップの取り付け方



1 ストラップをムービーの取り
付け部 A と、ストッパー 1
に通す

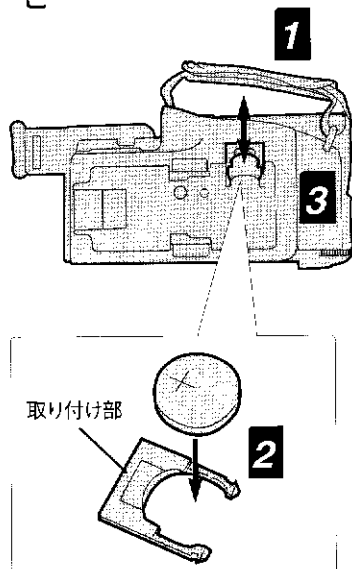
2 ストラップを止具 2 に通す
●ストラップを矢印方向に引っ張り確実に
取り付けられたか確認してください。

3 取り付け部 B にも **1** と **2** の
手順でストラップを通す

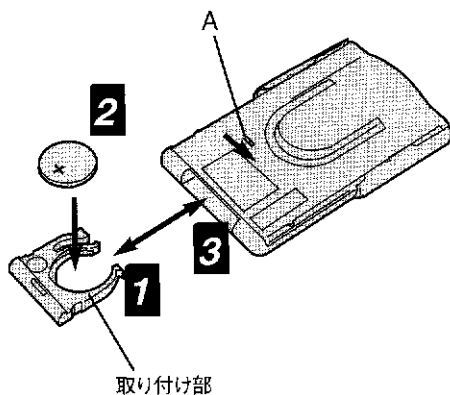
リチウム電池を入れる

リチウム電池はムービーの時計を動かせるために、またリモコンでは動作させるために必要です。

ムービー



リモコン



1 電池取り付け部を矢印方向に引き出す

- リモコンの電池取り付け部は、Aの部分にボールペンなどを差し込みスライドさせながら引き出します。

2 リチウム電池の ⊕ 側を上にし 取り付け部にのせる

3 取り付け部を矢印方向に カチッと音がするまで差し込む



電池を交換するときは

- ・ CR2025 リチウム電池を最寄りの電気店（またはカメラ店）でお求めください。
- ・ 交換後は日時合わせをやり直してください。



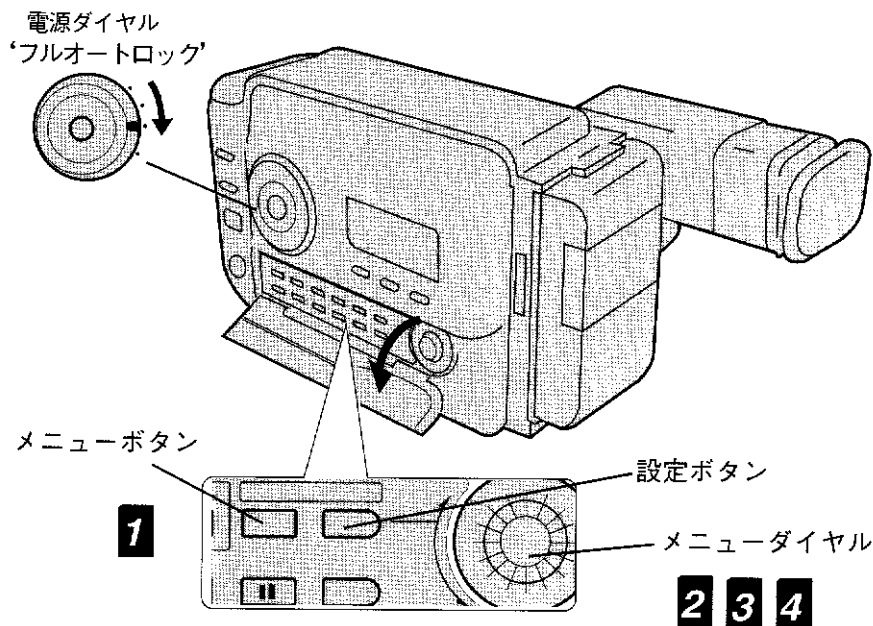
電池は幼児の手の届かない所においてください
万一、飲み込んだ場合は直ちに医師と相談してください。

治療方法についてのお問い合わせは
(財) 日本中毒情報センター
(24時間受け付け)

つくば中毒 110 番 TEL 0298-52-9999
大阪中毒 110 番 TEL 06-871-9999

日時を合わせる

日付、時刻、生年月日または旅行などの出発日を合わせると、撮影中に日時をテープに記録できます。



1 電源ダイヤル ‘フルオートロック’ にし
メニューボタンを押す

2 メニューダイヤルと設定ボタンで
‘日時合わせ スル’
に合わせる（メニューの使い方 **10**）



準備

リチウム電池と電源類（バッテリーパックなど）を付けて
から行なってください。



(例えば、1993年10月10日午後3時現在
子供の誕生日は同じ年の10月1日のときは)

3

年を合わせる

メニューダイヤルを回し
年を合わせる

- 西暦下2ケタの数字を合わせます。

(例 1993→93)



合ったところで
設定ボタンを押す

4

月→日→時→分を合わせる

ダイヤルと設定ボタンで点滅して
いるところを合わせる

- 分をダイヤルで合わせ、設定ボタンを押すと時計がスタートします。



- AM12:00は午前0時

- PM12:00は正午
を表わします。



途中で間違えたら

設定ボタンで最後まで送り **1** からやり直してください。

年齢/トラベルデートを合わせないときは

そのまま最後まで設定ボタンで送ります。(その日が生年月日となります。) 年齢のない表示モードを選んでください。

一度、合わせると電源ユニット(バッテリーパックなど)を外してもリチウム電池で記憶しています。

表示を出して撮影するには

45 ~ **47** をご覧ください。

5

生年月日または出発日を合わせる

ダイヤルと設定ボタンで点滅して
いるところを合わせる

- 生年月日または出発日の日を合わせ、設定ボタンを押すと年齢/トラベルデート表示にかわり設定が終わります。

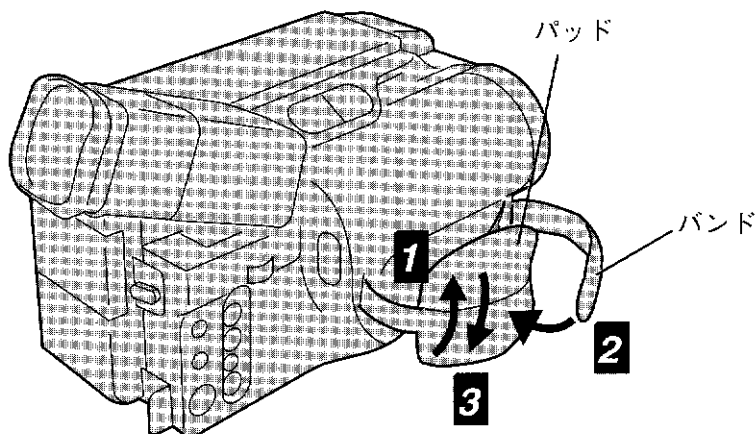
日付、時刻、年齢を3秒間表示し、日付表示にかわります。





グリップ部を調節する

ムービーをしっかりと持てるようにグリップバンドを調節します。

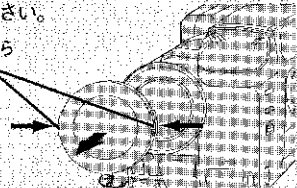


- 1 パッドをはがす
- 2 ムービーをしっかりと持てるようにバンドを調節する
- 3 パッドをはり付ける

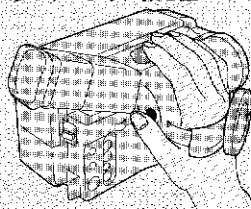


レンズキャップはムービーのレンズを保護します。持ち運びのときは取り付けてください。

ここを押しながら行ないます。



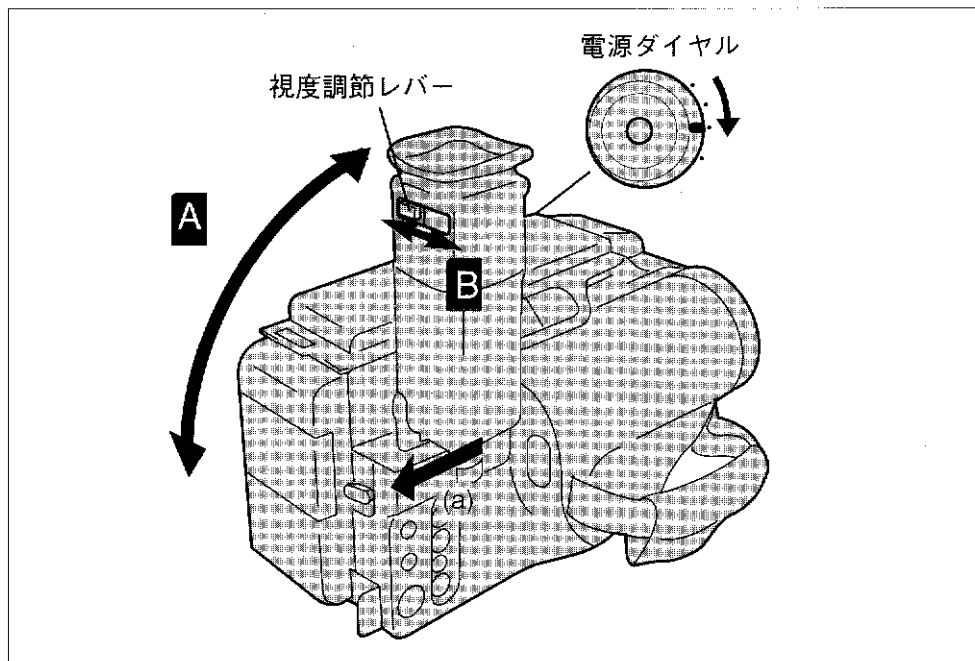
安定したカメラ撮りのためにズームスイッチとスタート/ストップボタンが操作しやすいように指を置いてください。



撮影中はレンズキャップの裏側中央部をパッドに差し込みます。

ビューファインダーを調節する

ビューファインダー内の画面を見やすいように調節します。



A 見やすい角度に合わせる

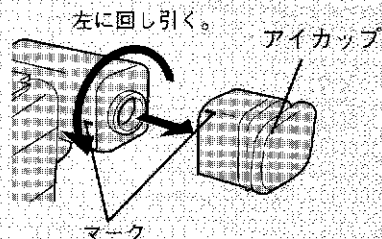
- ビューファインダーを回転させるときは一度手前に引き出してください。(a)

B ビューファインダー内の文字がハッキリ見えるように調節する

- 電源ダイヤルを‘撮影側’にし、ビューファインダー内の表示がはっきり見えるように視度調節をします。



アイカップはカメラ用ブローアー（カメラ店で市販）などで清掃してください。



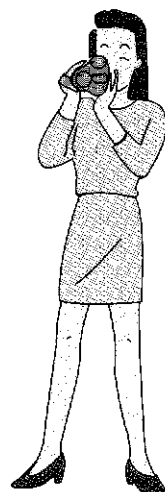
取り付けたときはマークを合わせ矢印と逆方向に回します。

よりよい撮影のために

より安定した撮影のためには姿勢が大切です。



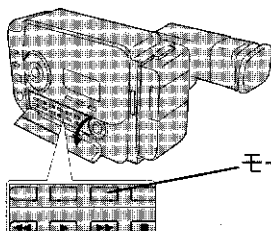
壁や柱によりかかり
安定させる



左手もムービーにそえる
わきをしめる



低い位置の撮影



モードボタン

足は少し開きしっかり構える



撮影前のモードの設定

録画モードは

SP (標準モード)

●画質と音質を重視するときや、後で編集するとき。

EP (3倍モード)

●テープを経済的に使いたいとき。

(撮影時間がSPの3倍になります。)

テープと録画方式 (S-VHS・VHS) は

テープ

方式



S-VHS

VHS



VHS

(S-VHS記録はできません。)

モードボタンで好みのモードを選びます。

●ボタンを押すごとにビューファインダー内に以下の表示が出ます。

S-VHS / SP (1) → S-VHS / EP (2)

VHS / EP (4) ← VHS / SP (3)

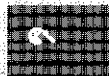
・VHS-Cテープのときは (3) と (4) が選べます。



雑音の多いところでは (ボイスポジション)

風の多い日、遊園地など周りがさわがしいところで撮りたいとき、ボイスポジションで被写体の声をはっきりします。

メニューのボイスポジション「入」を選びます。
(メニューの使い方 10)



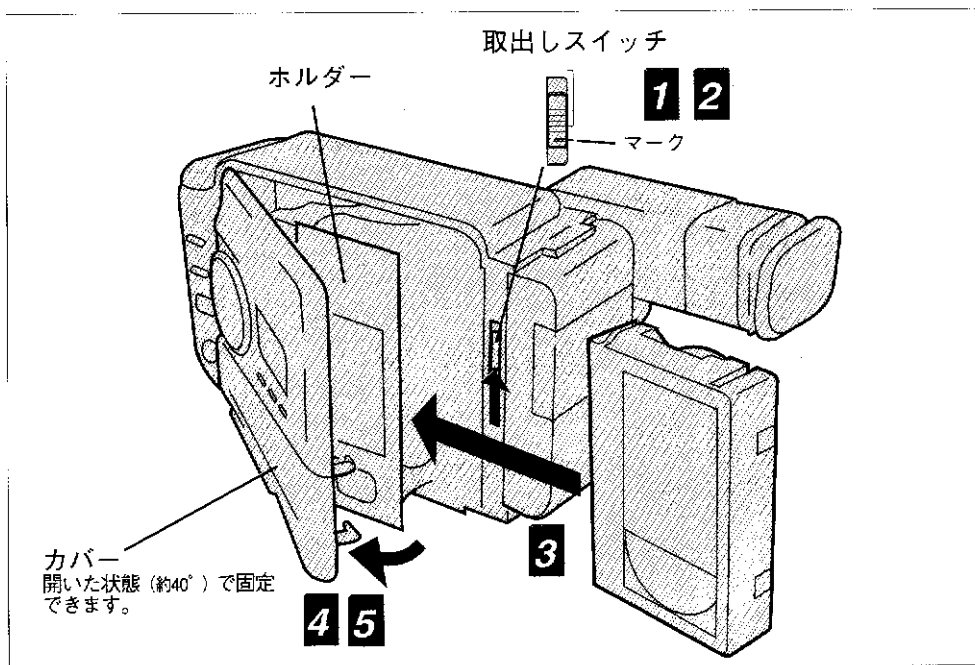
・S-VHS録画したテープは他のVHSデッキでは正常に再生できません。

S-VHS対応デッキまたはS-VHS簡易再生機能付きデッキで再生してください。

・1本のテープ内でモードを切り替えると、その部分で再生画像が乱れます。

テープを出し入れする

バッテリーパックを付けていれば電源を入れなくてもホルダーを開けることができます。



1 取出しスイッチを押す
●マークを 開 の位置に合わせ、カバーを開けます。

2 取出しスイッチをもう一度押す
●ホルダーが開きます。
●1でスイッチの一番上まで押すとカバーが開いた後、ホルダーも開きます。

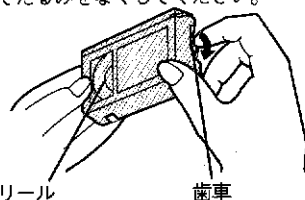
3 テープを入れる
●奥まで確実にに入れてください。

4 ホルダーを閉める

5 カバーを閉める
●カチッと音がします。



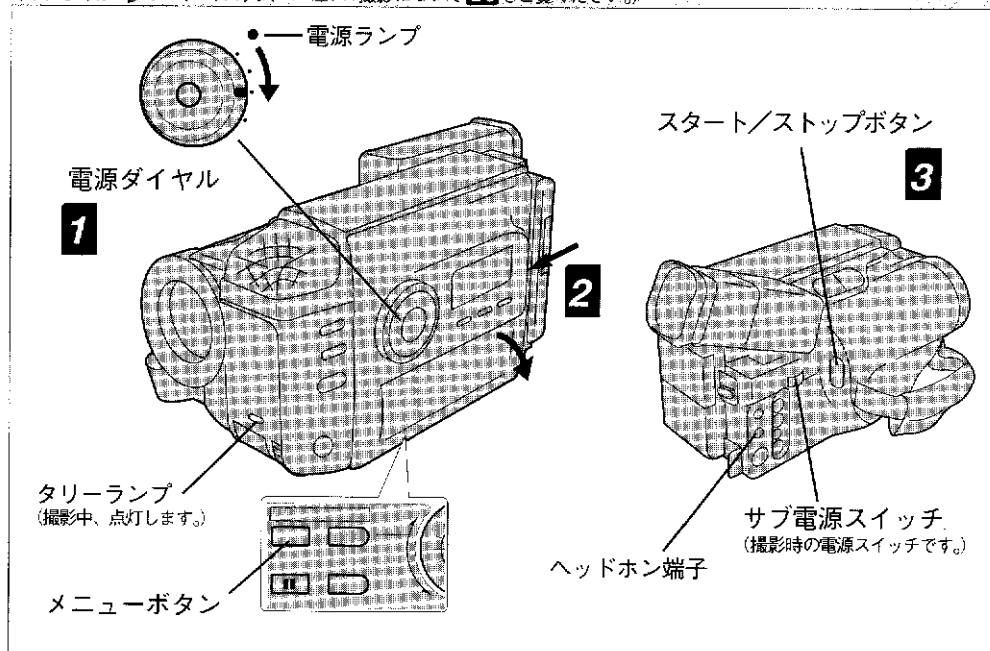
テープのたるみは、テープを傷める原因になります
ご使用前にリールが一緒に動くまで歯車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。



・またテープの出し入れだけを繰り返さないでください。テープがたるみ傷つくことがあります。

カメラ撮り

このムービーの電源ダイヤル「フルオートロック」は初級者向け、「マニュアル」はいろいろな機能を使ってカメラ撮りする上級者向けポジションです。
(くわしくは ④ フルオートロック、マニュアル撮影について 25 をご覧ください。)



1 電源ダイヤルを撮影側 「フルオートロック」(または「マニュアル」) にする

- 電源ランプが点灯します。

2 テープを入れる

- 撮影一時停止になります。

3 スタート/ストップボタンを 押す

- 撮影が始まります。
- タリーランプが点灯します。
- 撮影を中断するときはスタート/ストップボタンを押すと撮影一時停止になります。

撮影をやめるときは

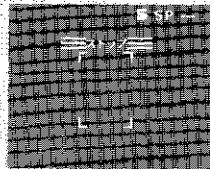
撮影一時停止で

電源 切 にする



撮影一時停止とは
電源ダイヤルを撮影側にし、テープを入れた準備
状態のことです。

ビューファインダー内



次の撮影まで間があるときは
サブ電源スイッチで電源を切ります。
再び撮影を始めるときはサブ電源スイッチを押し、
スタート/ストップボタンを押します。



フルオートロック、マニュアル撮影について

「フルオートロック」：初めての人、お友達に撮ってもらったとき、いろいろな機能のボタンはロックしているので誤って触れても安心です。

このとき使えるボタンは

・ズームスイッチ	・自動追尾ボタン
・スタート/ストップボタン	・色登録ボタン
・サブ電源スイッチ	・モードボタン
・電子ズームボタン	・メニューボタン/ダイヤル
・手触れ補正ボタン	・リテイクR/Fボタン
・レンズ切替スイッチ	・オートストップボタン

「マニュアル」：フルオートのまま、さらにいろいろな機能を使いたいときの上級者ポジションです。(それぞれのボタンを押さなければフルオート状態のままです。)

「再生」：撮ったものを見るとき

「切」：撮影や再生が終わったら切にします。

撮影中、または再生中の音声をきくことができます
ヘッドホン端子にヘッドホン(別売)を差し込みます。



テープ残量表示は

撮影中、ビューファインダー内にテープ残り時間の目安を表示します。

アト120分

使用するテープに合わせてメニューを選びます。
(メニューの使い方 10)

30分テープの場合 → 20分 ▶ 30分 40分

20分テープの場合 → ▶ 20分 30分 40分

・40分表示は将来のテープに対応した表示です。



撮影一時停止を5分以上続けると

節電のため電源が切れます。再び撮影するには
サブ電源スイッチで電源を入れます。

電源ダイヤルを撮影側にしても電源が入らないときは
一度「切」にしてから再度電源を入れてください。

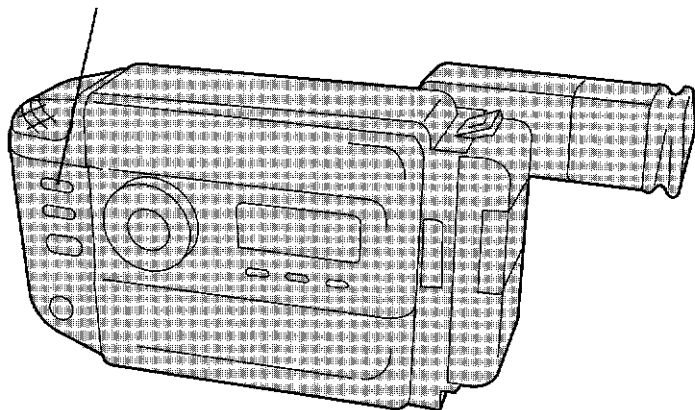


手振れ補正して撮る

ズームを望遠側にして撮影するときなどに起こる比較的小さな画面の振れを補正します。



手振れ補正ボタン



手振れ補正ボタンを押す

- 画面が約1.15倍拡大され手振れ補正機能が働きます。
- 画面の解像度は約15%悪くなります。



ビューファインダー内

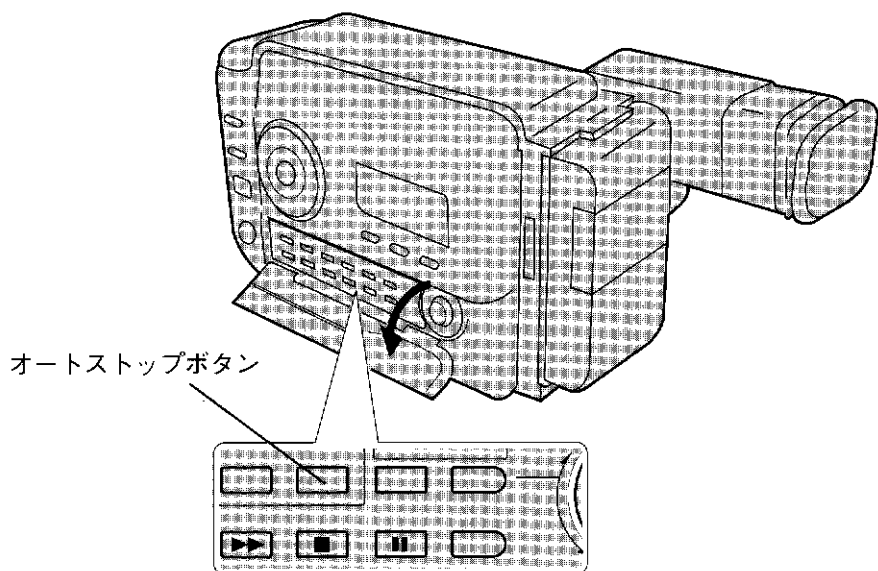


手振れが大きい場合は、画面が揺れたり補正できないことがあります。

やめるには
手振れ補正ボタンをもう一度押す

地面撮りを防止 (オートストップ機能)

撮影中、ストップしすぎて地面や足もとを撮ってしまうことを防ぎます。

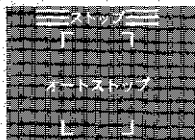


オートストップボタンを押し '入' にして撮影します



LCDパネル

- 通常撮影の水平位置から角度が大きく (約90°) 変わると自動的に撮影一時停止になります。



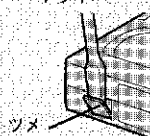
ビューファインダー内

- 真下を撮るときはオートストップボタンを押し '切' にします。



誤って大切な記録を消さないために 'ツメ' を折ります。

ドライバー



ツメ

- 再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ります。



'ツメ' の部分がスライド式の場合は誤消去防止用のツメ (フタ)



誤消去を防止するときは



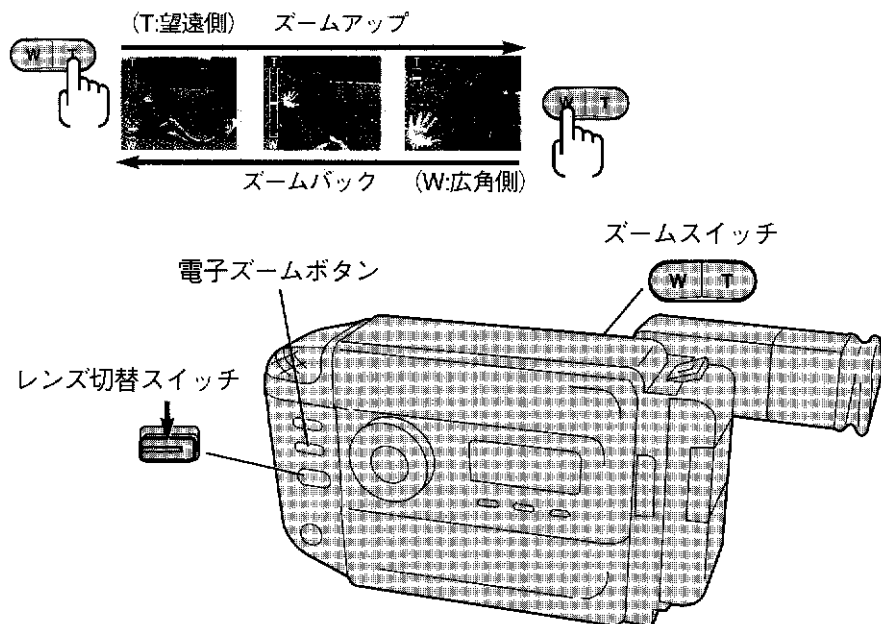
撮影するときは

バッテリーアラームが出たらバッテリーパックの充電容量が少なくなっています。撮影一時停止でサブ電源スイッチを押し充電したものと交換します。再びサブ電源スイッチで電源を入れます。



被写体の大きさを変える

ズームスイッチで被写体のズームアップ/ズームバックができます。その他電子ズームで20倍デジタルズーム、レンズを切り替えてワイド撮影もできます。



標準ズーム

通常の撮影など。

ズームスイッチ 「T」 または 「W」 を押して映像をお好みの大きさにします (10倍ズーム)

20倍デジタルズーム

スポーツシーンのように近づけないものを大きく撮るときなど。

電子ズームボタンを押す

- 20倍ズームになります。
- 画面の解像度は最大約50%劣化します。

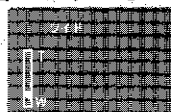
やめるには

電子ズームボタンをもう一度押す

ワイド撮影

室内や、広い景色を撮るときなど。

レンズ切替スイッチをワイド側にする



ビューファインダー内

- レンズが切り替わります。
- ズームは約3倍 (電子ズーム含む) まで使えます。
- 画面の四隅で多少ひずみますが故障ではありません。

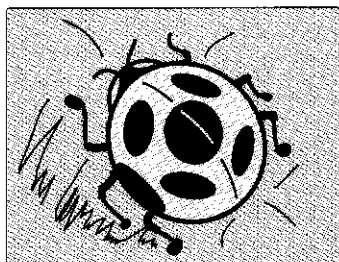
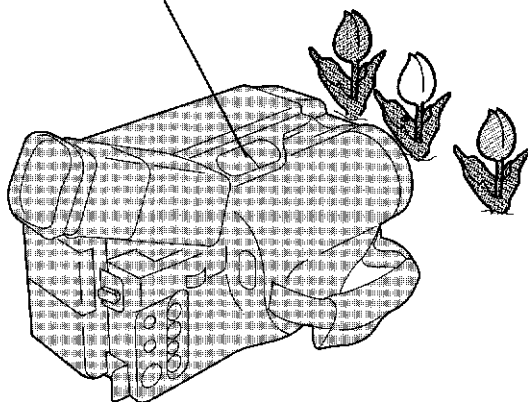
標準に戻すには

レンズ切替スイッチを標準側にする



ズーミングのスピードを変えることができます
ズームスイッチを軽く押すとゆっくり、強く押すと速くなります。

ズームスイッチ



マクロ（接写）撮影

花にとまっているてんとう虫を画面いっぱいにとるときなど。

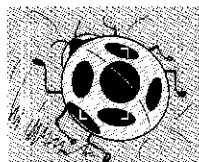
（広角側でレンズ前面から約1.5cmまで接写できます。）

被写体に近づきズームスイッチ「W」を押し撮影したいものを画面の中央に入れる



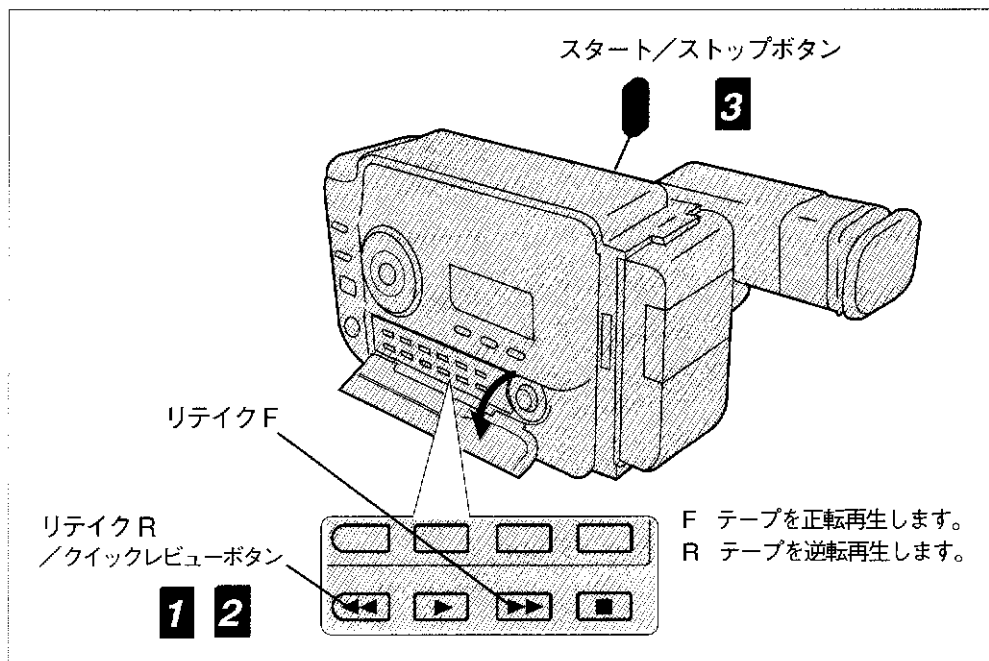
手動でピントを合わせるときも広角側にしてください

- ・マクロ撮影は、明るさが不足になりがちです。まわりの明るさにご注意ください。
- ・メニューのAF距離は1.5CMにしてください。（出荷時は1.5CMになっています。）



撮り直しをする

撮影中、失敗したなと思ったときなどボタン1つで撮り直したいところを探せます。



- 1** 撮影一時停止で
リテイク 'R' ボタンか 'F'
ボタンを押し続ける
●ビューファインダー内で撮り直し箇所を
探します。

- 2** 撮り直したいところで
ボタンから指を離す
●撮影一時停止に戻ります。

- 3** スタート/ストップボタンで
新たに撮影を始める



リモコンの早送り／巻戻しボタンでもできます。

撮影の確認 (クイックレビュー)

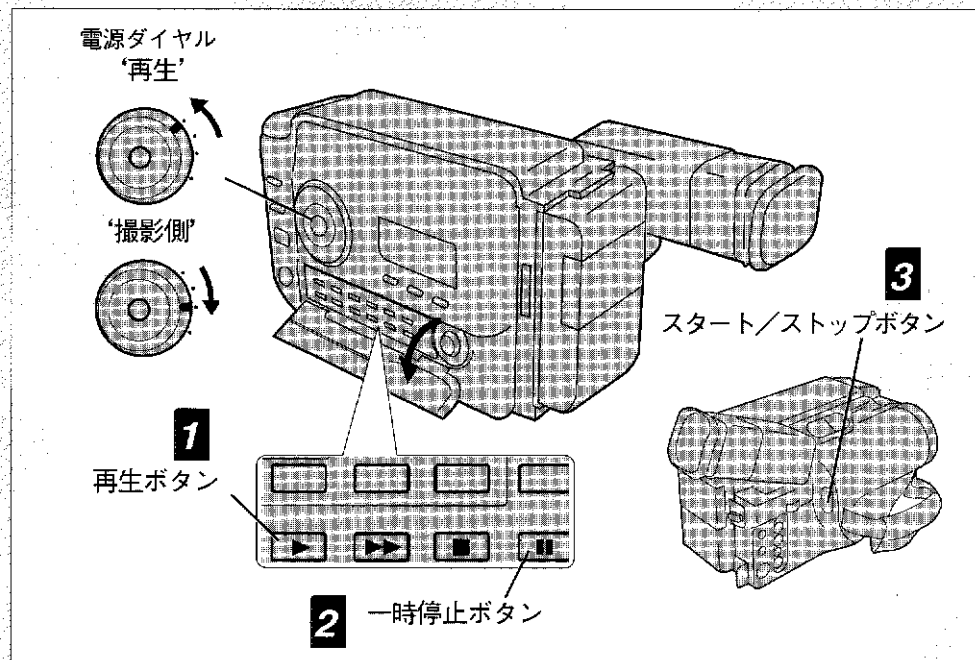
撮影一時停止でリテイクRボタンをポンと押すと最後のシーンを約2秒間再生し撮影の確認ができます。終わるともとの状態に戻ります。



リテイク中、画像が乱れることがありますが故障ではありません。

テープの途中から撮影する

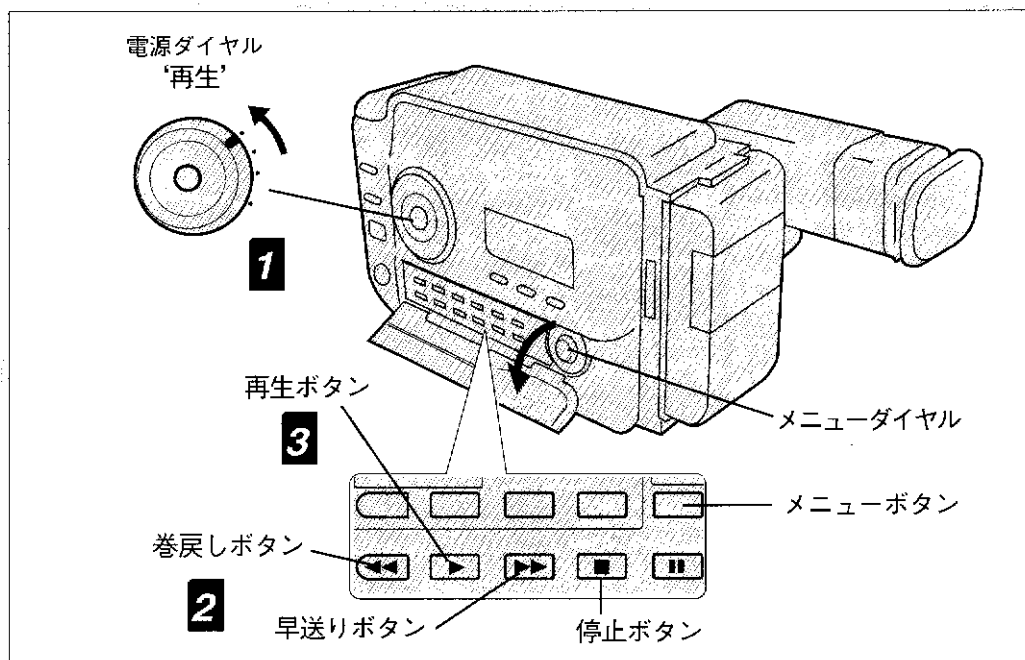
出し入れした録画済みテープの途中からとるとき、つなぎめのノイズをなくして撮影します。



- 1** 電源ダイヤルを '再生' にし
再生ボタンを押す
●つなぎ撮りしたいところを探します。
- 2** つなぎ撮りしたいところで
一時停止ボタンを押す
- 3** 電源ダイヤルを撮影側にし
('フルオートロック' または 'マニュアル')
スタート/ストップボタンを
押す
●新たに撮影を始めます。

見る

撮影した映像をビューファインダー内で見ることができます。



1 電源ダイヤルを '再生' にする

2 巻戻しボタンを軽くポンと押す

●テープのはじめまで巻戻すと自動的に停止します。

3 再生ボタンを押す

●ビューファインダー内で見ることができます。

再生をやめるには
停止ボタンを押す



テープの早送り／巻戻し

停止ボタンを押してから早送りボタンまたは巻戻しボタンを軽くポンと押します。

素早く早送り、巻戻しをしたいときは

早送り／巻戻しボタンをしばらく押します。
(このとき、カウンターは―――になり、次に使うときは 0:00:00 になります。カウンターメモリーは使えません。)
・テープの最後まで早送りや巻戻しすると自動的に停止します。



停止状態が 5 分以上続くと

節電のため電源が切れます。再び使用するには電源ダイヤルを '切' にしてから電源を入れてください。



画面にノイズが出てきたら

このムービーはオートトラッキング機能付きです。あいにくい場合は手動調節をします。



再生中、メニューのオートトラッキングを「切」にし、ズームスイッチ「T」または「W」で画面と音声がよくわかるよう調節します。
(メニューの使い方 10)

オートトラッキングに戻すには

- ・再生中、メニューのオートトラッキングを「入」にする
- ・カセットテープを取り出す

のいずれかで次の再生はオートトラッキングモードに戻ります。

- ・他のビデオで録画されたテープは十分に調節できないことがあります。



再生時の音声は

メニューで音声出力切替 (HIFI/ミックス/ノーマル) を選ぶことができます。(10)

- ・ミックスにするときぎざざいことがありますので、通常はHIFIの位置にしてください。

テープの走行量を時間で確認できます

テープカウンター



途中で 0:00:00 に戻すには
メニュー表示でリセットします。

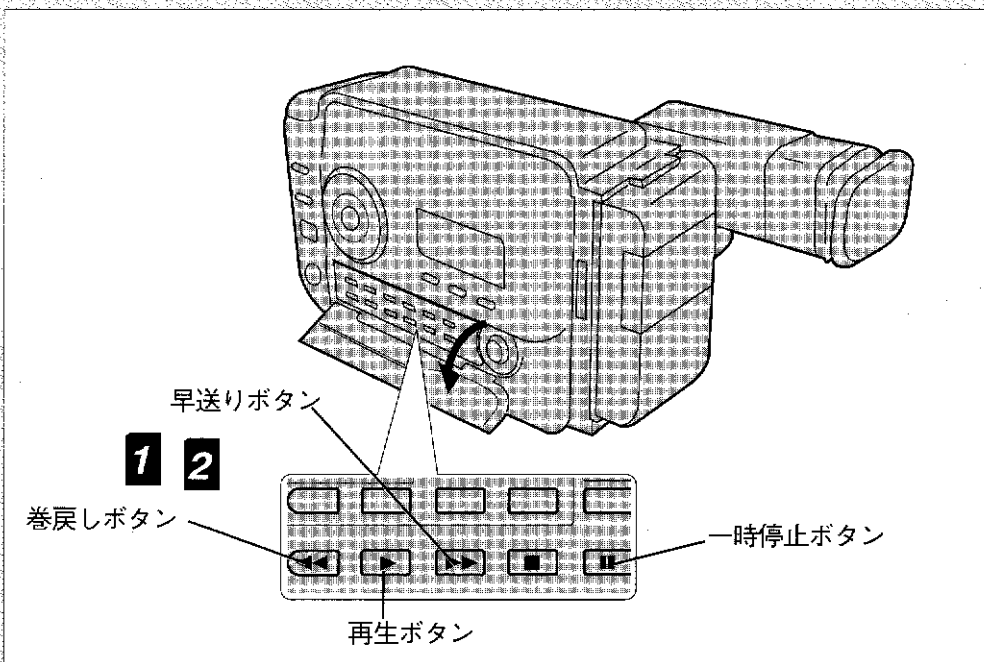
時 分 秒

- ・カウンター値は無記録部分では変わりません。
- ・テープ取出しでリセットします。
- ・0:00:00 を越えて巻戻すとー (マイナス) が表示されます。
- ・カウンターメモリーしておくと早送り/巻戻し
のとき M 0:00:00 の近くで止ります。



早送り/巻き戻ししながら見る

再生画を見ながら早送り/巻戻しできます。



- 1 再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押しつづける
●高速で再生します。

- 2 見たい場面になったらボタンから指を離す
●通常再生になります。



指を離しても高速再生します

1のボタンを押しつづけないで、ポンと一度押します。見たいシーンで再生ボタンを押します。

再生画を止めて見るには

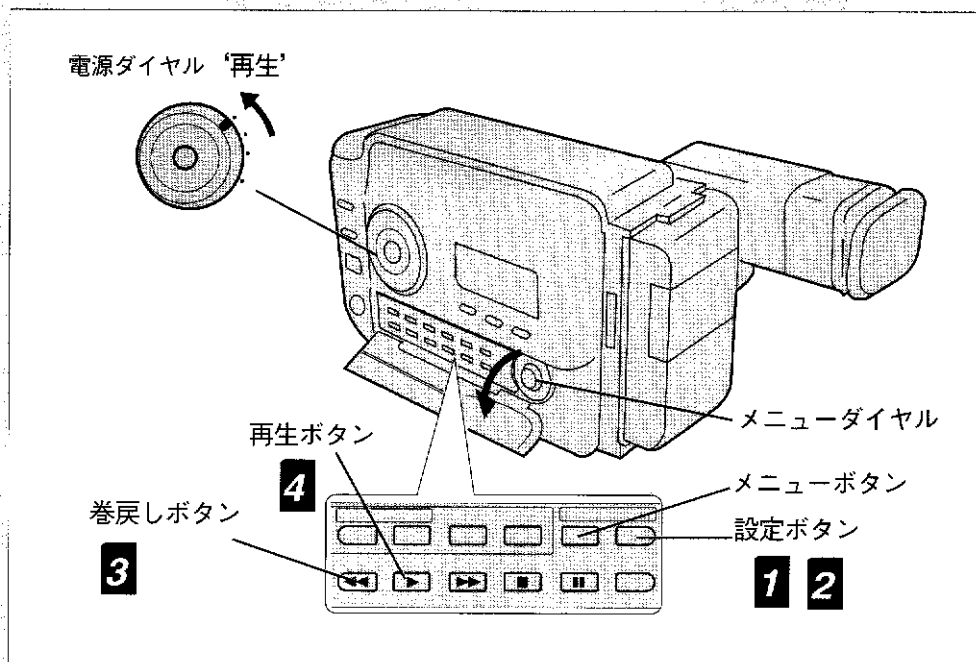
再生中に一時停止ボタンを押します。再生ボタンで戻します。一時停止を5分以上続けるとテープ保護のため停止します。



高速再生や静止画再生中にでる画面のノイズは故障ではありません。特にSP(標準)モードで多くなります。また音声はでません。

同じ場面を見る (カウンターメモリ)

繰り返し見たい場面の頭出しに便利です。



見たい場面の初めをきめる

- 1 繰り返し見たい初めの場面付近で
カウンターリセット 'スル' を選ぶ

(メニューの使い方 10)

●カウンター表示が0:00:00になり指を離すと
'シナイ'に戻ります。

- 2 カウンターメモリ 'スル' を選ぶ

カウンターメモリを使用する

- 3 テープがストップした状態で
巻戻しボタンを軽くポンと押す

●カウンターが0:00:00付近で自動的に止ります。
(早送り時にも使えます。)

- 4 再生ボタンを押す

●再生が始まります。

電源ダイヤル '再生' のメニュー表示



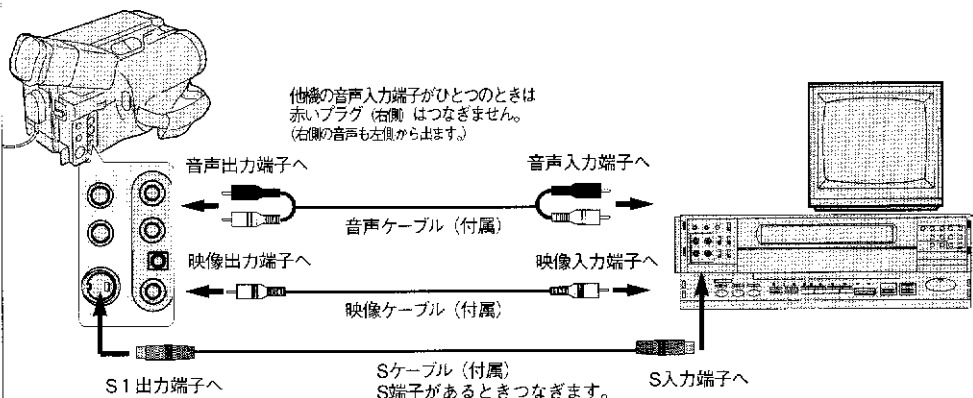
テープの出し入れでカウンターはリセットします。



デッキにつないでテレビで見る

再生や編集の他、ムービーをカメラとして使うときの接続のしかたです。ご家庭のテレビやデッキは仕様が変わりますので、その取扱説明書もお読みください。

接続のしかた



1 ムービーとデッキをつなぐ

2 デッキの入力を外部入力モードにする

- 1 ムービーとデッキ、テレビの電源を入れる
- 2 テレビはいつもビデオを見ているようにスイッチを設定する
- 3 デッキの入力を外部入力にする

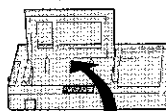
(37)

3 再生のしかた (32)

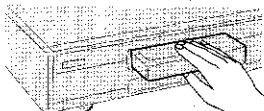


VHS-Cテープをデッキで見るにはカセットアダプターC-P6（別売）を使えば、接続なしでそのままデッキで見ることができます。

カセットアダプター



テープ



VHS または S-VHS 方式のデッキ



Sケーブルをつないでいるとき音声は出るが映像が出ない

デッキのS端子からの入力と映像端子からの入力を切り替えるスイッチ（S/AV切替スイッチ、映像切替スイッチ、S映像入力スイッチなど）を操作してみてください。

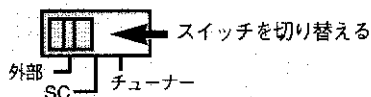


外部入力するには

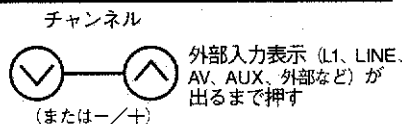
デッキによって違いますのでデッキの取扱説明書と下の例を見ながら行なってください。

・ムービーからの映像と音声が出たら終了です。

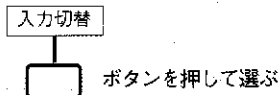
例1 スライドスイッチで切り替えるタイプ



例2 チャンネルボタンで切り替えるタイプ



例3 入力切り替えボタンのタイプ



ムービーの電源は

バッテリーバックよりもチャージピットを使うことをおすすめします。

テレビにつないで見るには

38 をご覧ください。

カメラリハーサルとは

テープを入れる前に、電源ダイヤル「撮影側」でカメラの映像を見ることです。テレビがムービーからの入力に切り替わったとき映像と音声が出てすぐわかります。

ムービーをカメラとして、デッキで録画するには

ムービーをカメラリハーサル状態にし、デッキに録画するテープを入れてデッキ側でスタート/ストップの操作を行ないます。

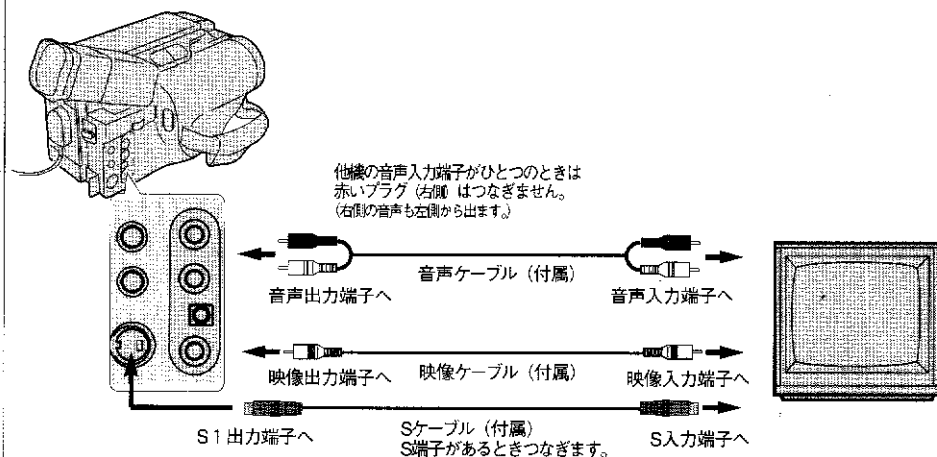
(デッキにリモートボース端子が付いているときは、リモートボースケーブルをデッキとムービーの編集端子につなぎムービーのスタート/ストップボタンで操作します。)

- ・ムービーのテープは取り出してください。
- ・音声出力切替はHIFIにしてください。(出荷時はHIFIになっています。)



映像／音声入力端子付きテレビで見る

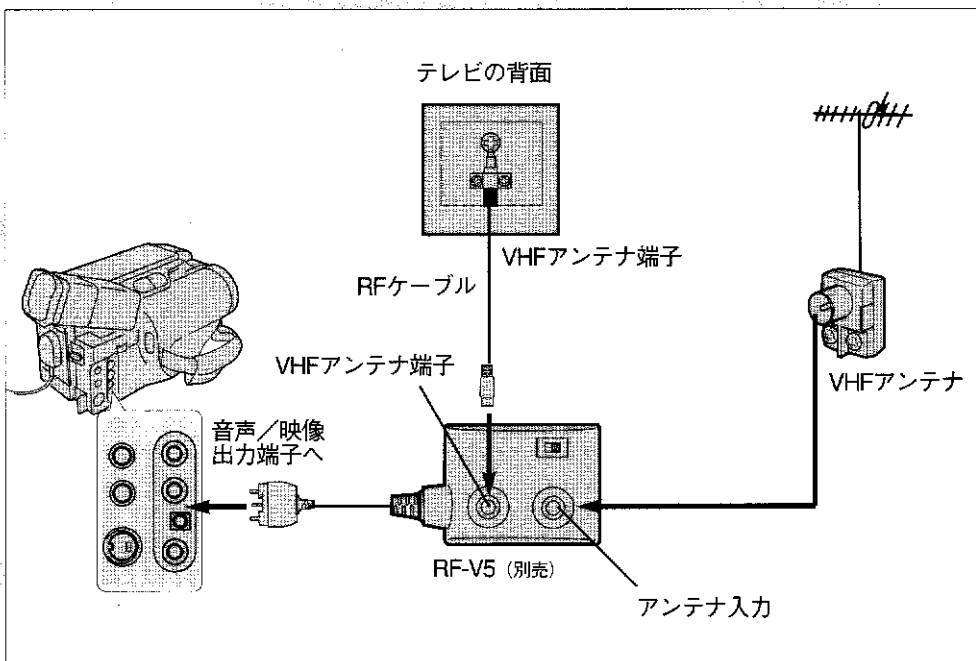
再生や編集の他、ムービーをカメラとして使うときの接続のしかたです。ご家庭のテレビやデッキは仕様が変わりますので、その取扱説明書もお読みください。



- 1** ムービーとテレビをつなぐ
- 2** ムービーとテレビの電源を入れる
- 3** テレビの入力をムービーにつないだ端子に切り替える
(例. ビデオ2、ビデオ3、ムービーなど)
- 4** 再生のしかた (32)

映像／音声入力端子のないテレビで見る

映像／音声入力端子のないテレビにつないで見る場合はRFユニットが必要です。
VHFアンテナへの接続方法はRFユニットの取扱説明書をご覧ください。



- 1 ムービーとテレビをつなぐ
- 2 ムービーとテレビの電源を入れる
- 3 テレビをビデオ専用チャンネル 1 か 2 にする
●RFユニットの設定チャンネルと同じにする。
- 4 再生のしかた (32)



ムービーの電源は
バッテリーバックよりもチャージビットを使うこ
とをおすすめします。

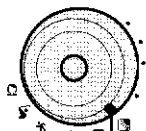


いろいろなシーンに合わせて撮る

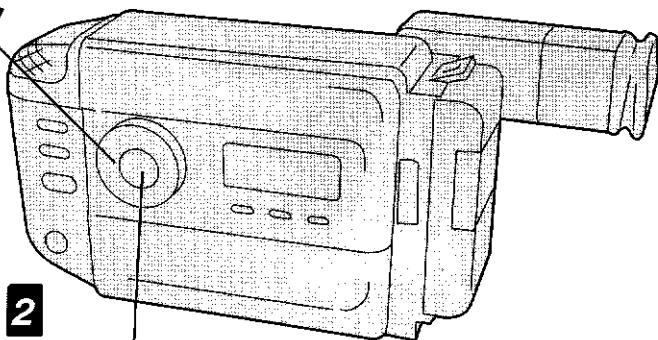
6つのシーンの中からそれぞれの場面に合ったシーン表示を選んで撮れば、今までにない映像効果を楽しむことができます。

シーンダイヤル

1



マークを合わせます。



2

シーンボタン

1

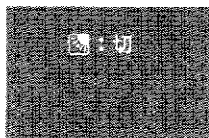
シーンダイヤルを回してお好みのシーンを選ぶ

2

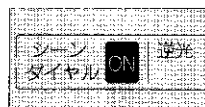
シーンボタンを押す

- 選んだシーンの設定になりビューファインダーの‘切’が‘入’にかわります。
- シーンダイヤルを回すと解除します。

ビューファインダー内



LCDパネル



やめるには
シーンボタンをもう一度押す



シーンの種類は

ポートレート

人物をより美しく引き立たせるよう背景をぼかして撮影します。



絞りとシャッタースピードを被写体の大きさや明るさに応じて自動的に合わせます。

- ・動きの少ない被写体（人物、花など）を撮るとき
- ・望遠側で被写体を大きく撮るときなどに効果的です。
- ・被写体に合わせて1/60～1/1000秒高速シャッター自動可変です。

スウィング

ゴルフのスウィングなどかなり動きの速いものを撮るとき被写体をシャープに撮影します。



後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。（スロー再生、静止画再生のできるデッキで再生したときのみです。）

- ・1/4000秒高速シャッター固定です。（ただし周囲が暗くなると1/1000秒になることもあります。）
- ・シャッタースピードが通常より速いため、明るく屋外でご使用ください。

スポーツ

動きの速い被写体をシャープに撮影します。



後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。（スロー再生、静止画再生のできるデッキで再生したときのみです。）

- ・被写体に合わせて1/250～1/500秒高速シャッター自動可変です。
- ・ポートレート、スウィング、スポーツは被写体に合わせてシャッタースピードを変えるため画面の明るさが変わることがあります。

夜景／屋外

夕日が沈むときや、花火、ネオンサインなどの夜景を撮るとき、ザラザラしないそのままの自然な感じで撮影します。また屋外で自然な色で撮影したいときなどにもお使いいただけます。



フォーカスが手動になり、無限遠に合います。近くのものにピントを合わせたいときは、フォーカスダイヤルで合わせてください。

- ・手動フォーカス表示（)が出ます。フォーカスボタンを押すと、自動でピントを合わせます。

ファンタジー

ソフトな映像で撮影します。



- ・人の顔をアップで撮るときなどに効果的です。ワイプフェーダーは使用できません。

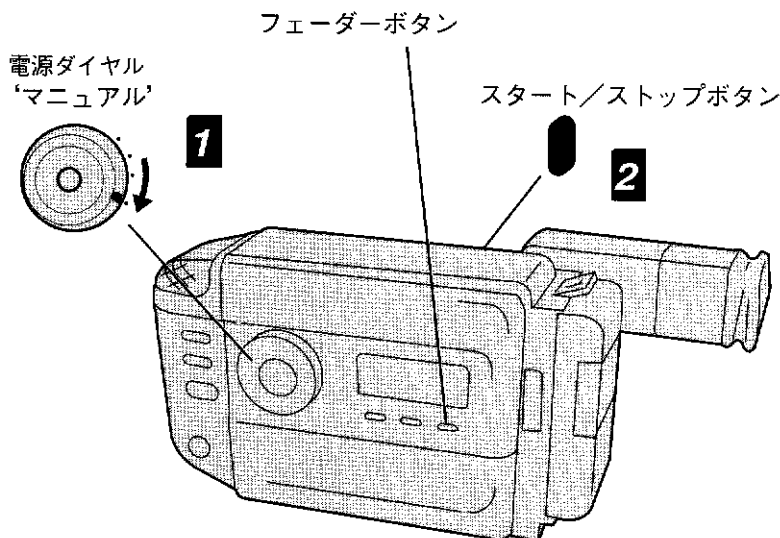
逆光

逆光状態、夏の海岸や冬のスキー場などで被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影します。



フェードイン/アウトしながら撮る

真っ白な画面から映像が徐々に現われるフェードイン、徐々に消えるフェードアウト。
その他、黒のワイブフェードイン/アウトができます。



フェードイン (またはワイブフェードイン)

- 1 電源ダイヤルを「マニュアル」にし
撮影一時停止で
フェーダーボタンを押す
●押すたびに切り替わります。

→ フェーダー
↓
ワイブ
↓
OFF



- 2 スタート/ストップボタンを
押す
●撮影がスタートし、フェードインが
始まります。

フェードアウト (またはワイブフェードアウト)

- 1 撮影中にフェーダーボタンを
押す
●フェーダーまたはワイブを表示させます。
- 2 スタート/ストップボタンを
押す
●フェードアウトが始まり、撮影が終わり
ます。

フェードイン/アウト

フェードイン



フェードアウト

ワイプフェードイン/アウト

フェードイン



●ワイプフェーダー中の映像は横広がりになります。

フェードアウト



フェード状態の長さをかえるには
スタート/ストップボタンを押している間は
フェード状態（画面が白または黒）がつづきます。



- ・フェードイン/アウト中は、スタート/ストップは使えません。
- ・フェードイン/アウトはスタート/ストップボタンのみで使えます。
- ・ワイプフェーダー時、シーンダイヤルのファンタジーは使用できません。
- ・音声はフェーダーしません。

映画の画面サイズに撮る

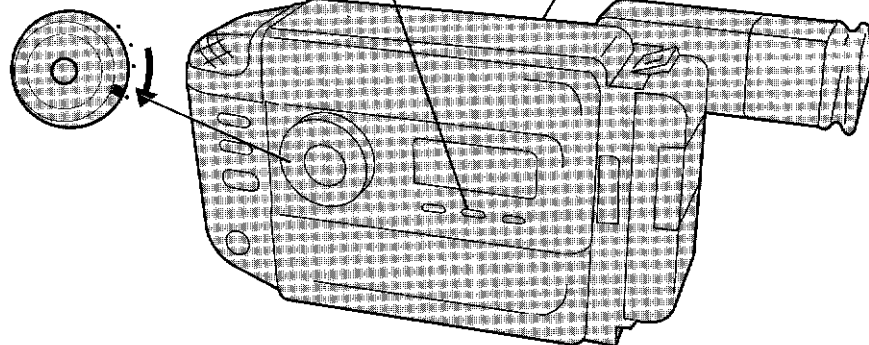
ビデオ作品も映画のように撮影できます。



電源ダイヤル
‘マニュアル’

シネマボタン

スタート/ストップボタン



- 1** 電源ダイヤルを‘マニュアル’にし
シネマボタンを押す
●シネマモードになります。



撮影中にシネマモードにすることもできます。

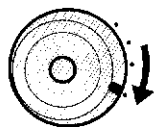
- 2** スタート/ストップボタンを押す
●撮影が始まります。

シネマモードをやめるには
シネマボタンをもう一度押す

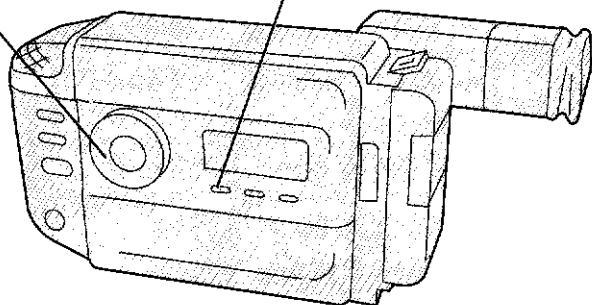
日時を入れて撮る

4つの表示モードの中からお好みの日時表示を選ぶことができます。
あらかじめ日時合わせを行なってください。(18)

電源ダイヤル
‘マニュアル’



日時表示ボタン



表示モード



日付



年齢または
トラベルデート



日付／年齢または
トラベルデート



日付／時刻



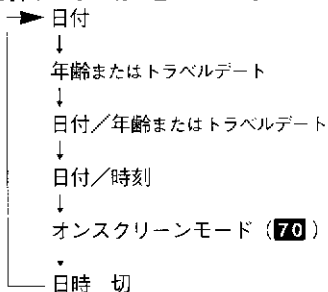
日時 切

表示モードを選ぶ

電源ダイヤルを‘マニュアル’にし

日時表示ボタンを押す

- 表示が出ます。
- 押すごとに切り替わります。



年齢表示は

1ヵ月未満→1日目～31日目(トラベルデート併用)
1ヵ月以上、1才未満→1ヵ月～11ヵ月
1才以上、7才未満→1才0ヵ月～6才11ヵ月
7才以上、9才まで→7才～9才
を表示します。

トラベルデートは

海外旅行など数日にわたる撮影の何日目かがわかります。生年月日のところに出発日を合わせてください。

日時 切は

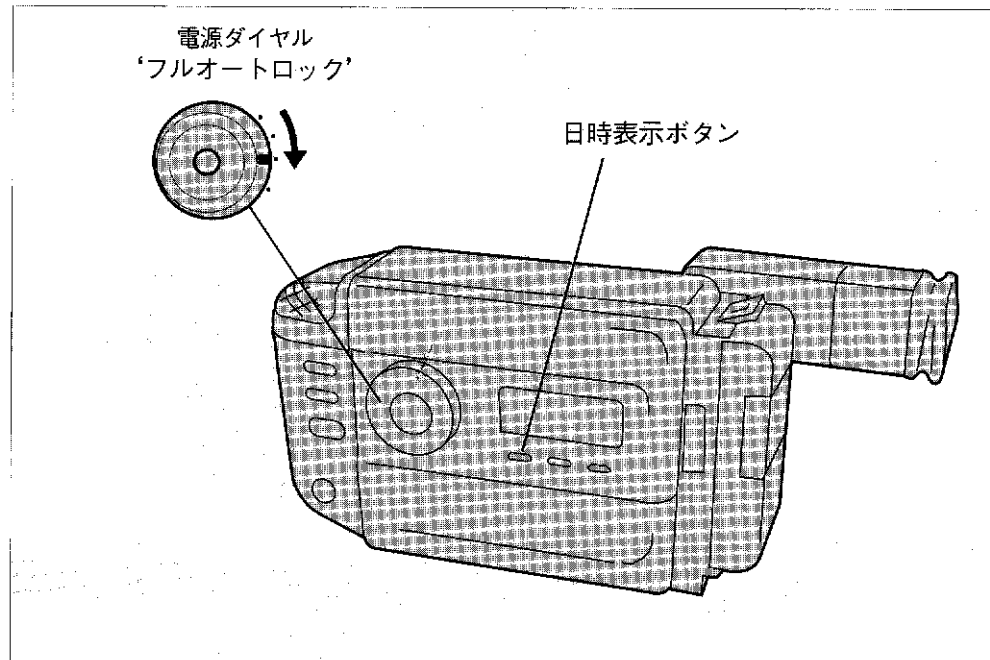
オートディスプレイ表示 (46) をさせたくないときに選びます。

次のページへ
つづく



日時を入れて撮る (つづき) 撮影の頭に5秒間だけ表示して撮る

電源ダイヤルを‘フルオートロック’にしていると、あらかじめ選んである表示モードが撮影をスタートさせると自動的に5秒間だけです。(オートディスプレイ表示)



電源ダイヤルを‘フルオートロック’にし

- ・テープを交換したとき (ホルダーを開閉したとき)
- ・日付が変わったとき
- ・表示モードを変えたとき

のいずれかで、最初の撮影をスタートさせると選んである表示モードを5秒間だけ記録します



表示が消えた後、ダイヤル位置をずらすと‘マニュアル’や‘シーン’にすると選んである表示ができます。出たくない場合は日時表示ボタンを押して消します。



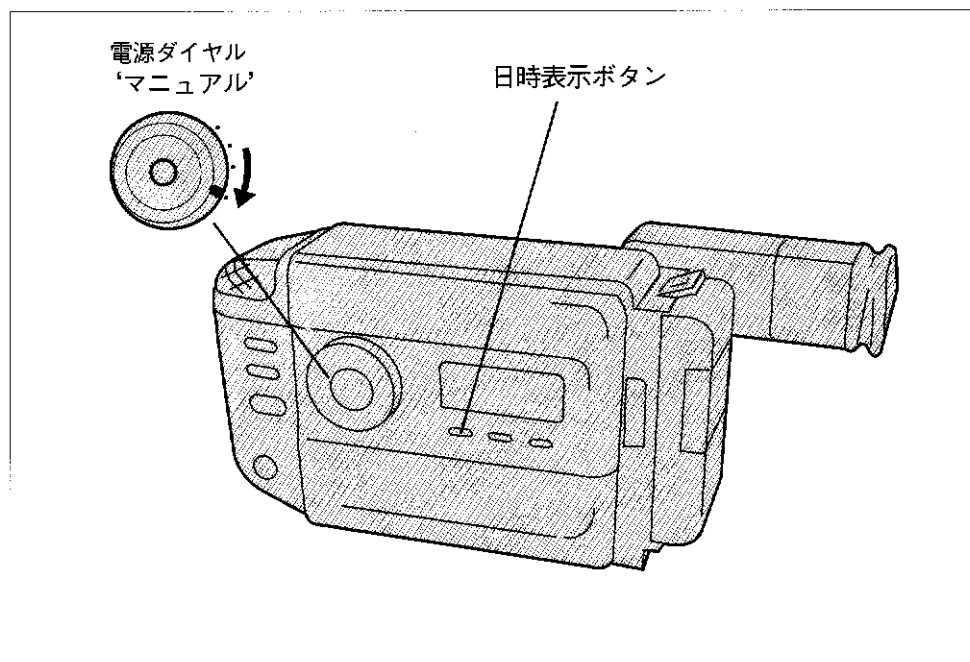
選んだ表示モード



5秒後消えます

いつも表示して撮る

あらかじめ選んである表示モードをいつも表示させるときは電源ダイヤルを‘マニュアル’にします。



電源ダイヤルを ‘マニュアル’ にし
日時表示ボタンを押し表示を出す



表示は撮影中、消せません。

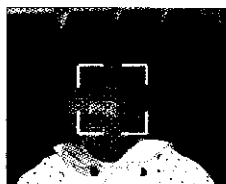
ビューファインダーに
選んだ表示があるとき→記録する
ないとき→記録しない

表示を消すには
日時表示ボタンを押し 日時 切にする

ピントを合わせる

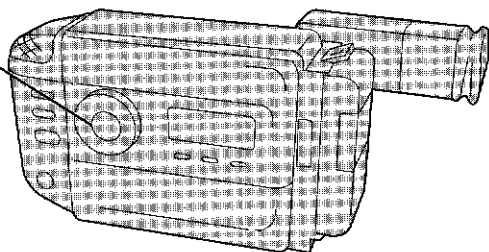
このムービーはデジタルフルレンジオートフォーカスです。撮影画像を検出して自動的に約1.5cm から無限遠までピントが合います。

自動

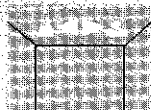


ピント合わせは画面中央（ピント検知ゾーン内）でおこないます。
ピント検知ゾーン表示は記録されません。

電源ダイヤル
‘フルオートロック’



次のような撮影条件のときピントが合わないことがありますので手動フォーカスで撮影してください。



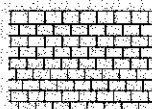
コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体（平らな壁や青空）



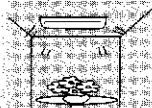
遠方と近距離の被写体が同一内に重なっている場合



暗い場所



こまかいパターン被写体や同じパターンが規則正しく並んでいる被写体



ちらつきのある光源（蛍光灯など）のとき

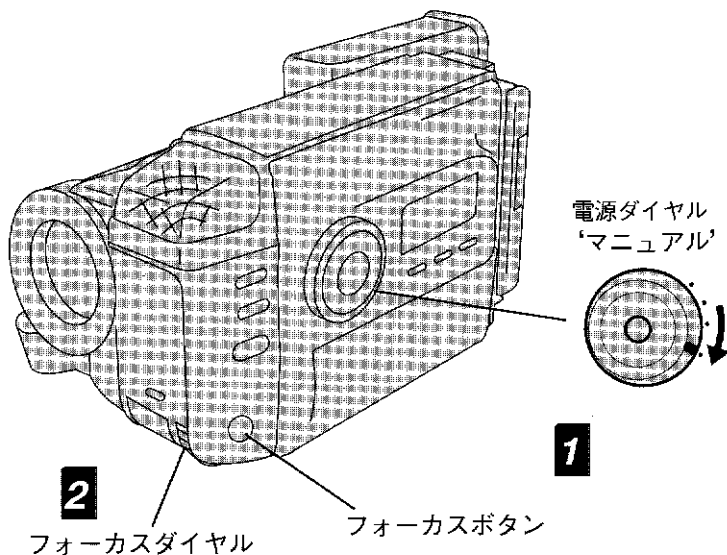


・レンズにくもりがあると、ピントが合いません。汚れは柔らかい布などでふき取り、つゆつきは消えるまでまって撮影してください。

- ・ズームアップ状態でコントラストのない被写体を撮影すると（▲点滅）、ピント合わせのため自動的にズームバックします。
- ・5cm以内の被写体はメニューのAFキョリ1.5CMにして撮ります。（出荷時は1.5CMになっています）

被写体が画面中央にないときなどに使います。

手動



1

電源ダイヤルを‘マニュアル’にし
フォーカスボタンを押す

●ピント検知ゾーン表示が消え
手動フォーカス表示が出ます。

2

フォーカスダイヤルで
ピントを合わせる

やめるには

- ・もう一度フォーカスボタンを押す
- ・電源ダイヤルをフルオートロックにする
- ・電源を切る

のいずれかで自動フォーカスに戻ります。



フォーカスダイヤルを回すとビューファインダー内に下の表示が出ます



遠くのものにピントを
合わせているとき



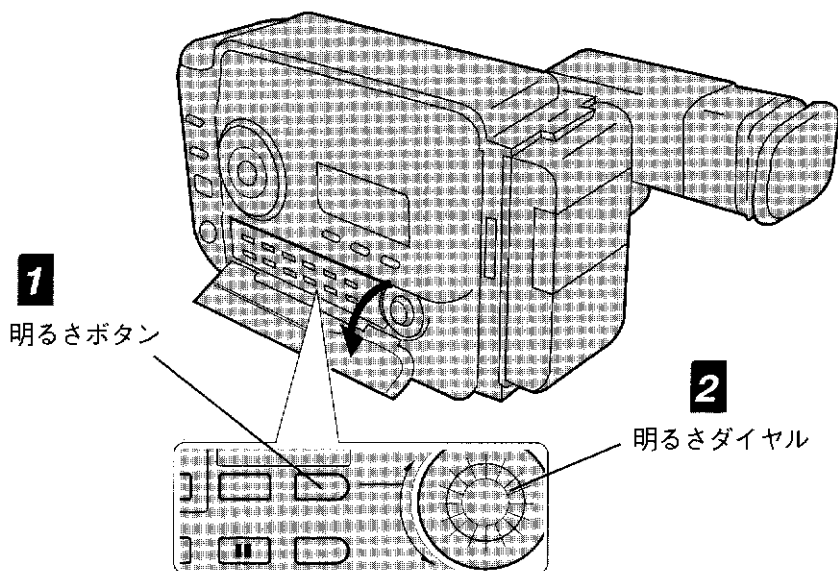
近くのものにピントを
合わせているとき

ピントが最遠点、最至近点になるとビューファインダー内の▲●がそれぞれ点滅します。
目安としてお使いください。

手動でピントを合わせるときは、あらかじめ視度調節を行ってください。(21)

画像の明るさを合わせる

このムービーの画像明るさ合わせは自動ですが、場所によっては手動で合わせることをおすすめします。



- 1** 電源ダイヤルを「マニュアル」にし
明るさボタンを押す
●表示が出ます。調節の目安にしてください。

- 2** 明るさダイヤルを回して
明るさを合わせる
●被写体の明るさに応じて合わせてください。



場面の途中、逆光などで明るさが変わるときは
晴れた日の海辺などでパンニングして撮ろうとして
も、途中で逆光が入って明るさが変わってしま
います。こんなときは、前もって明るさを合わせ
て撮影すると見やすい映像になります。

自動にするには
明るさボタンを押す

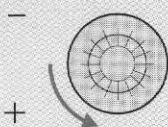


手動で明るさ合わせをしたほうがいい場合

背景が明るすぎて、被写体が暗くなる
逆光のとき、スキー場で雪面からの光の反射が
強いとき、海辺での水面からの光の反射が強い
ときなど。

回す方向

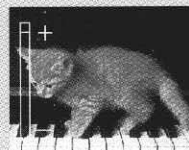
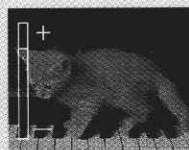
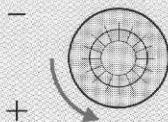
明るさダイヤル



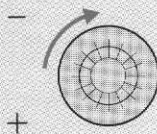
画像と明るさ表示



照明が少なく画面全体が暗いとき
照明の少ない室内で撮影したいときなど。

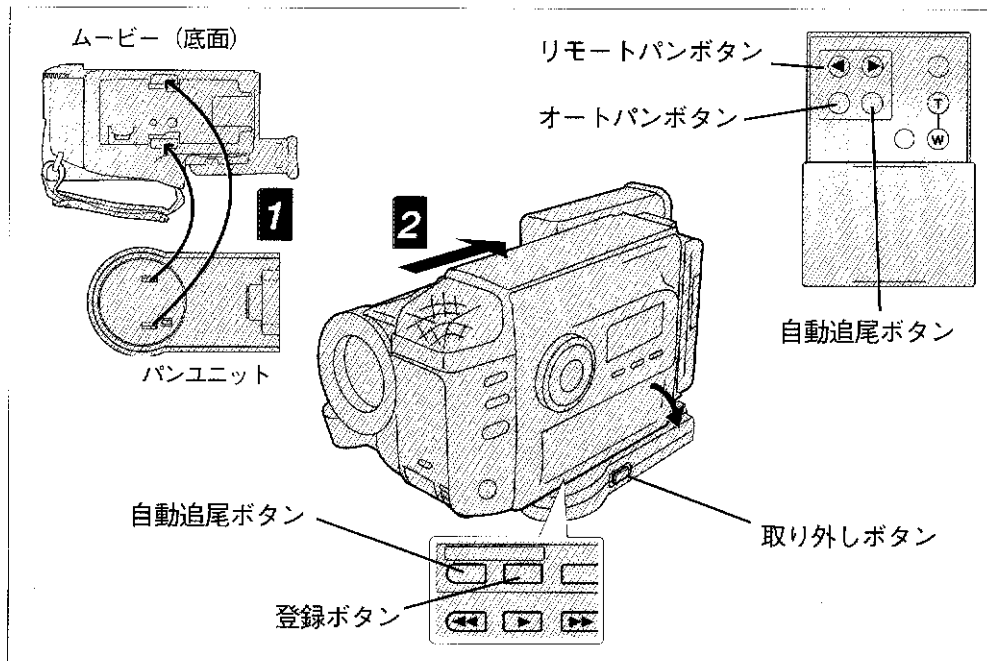


背景に比べて、被写体が明るすぎる
スポットライトの中にいる人物を撮るとき、
舞台上でスポットライトを照らされた人物を
撮るときなど。



ムービーを置いて自動で撮る

お子様と一緒に遊んでいるところを残しておきたいときや、パーティーなどで会場をくまなく撮りたいときなどにお使いいただけます。



パンユニットを取り付ける

- 1 パンユニットとムービーを合わせる
- 2 矢印方向にムービーをしっかりと押し
取り外すには
取り外しボタンを押しながら外す

ムービーをパンさせる

オートパン

リモコンのオートパンボタンを押すと自動で左右45°ずつパンニングします。止めるにはオートパンボタンをもう一度押します。

●ビューファインダー内にオートパン表示が出ます。

リモートパン（360°回転）

- ボタンを押している間は左に動きます
- ボタンを押している間は右に動きます
- ・リモコン受光部は前面のみです。



色を記憶させて被写体を追いかけることができます（自動追尾撮影）

●自動追尾の特性（66）をご覧ください。

電源ダイヤル「撮影側」にし人（服の色など）をピント検知ゾーンにいっぱいに入れ、ムービーの登録ボタンを一回押します。（ピント検知ゾーン以外の画面は極力無彩色にしてください。）

・ファインダー内にメモリー表示が出て登録した色が白く点滅します。（映像には影響しません。）

次に自動追尾ボタンを押すと登録した色が白く点灯し、ツイビ表示が出て人が動く方にムービーが360°回転します。

やめるときは自動追尾ボタンをもう一度押します。

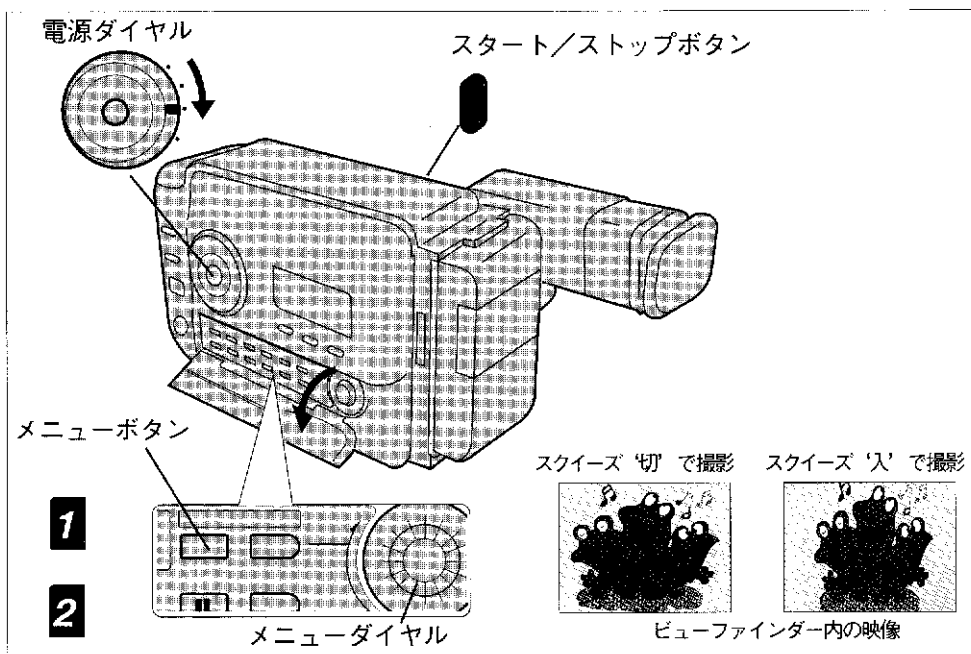


パンユニットご使用時の注意

- ・手振れ補正は切ってください。
- ・動作中、ユニットの回転を止めるとモードが解除します。
- ・ムービーを傾けて使用するとスムーズに動作しないことがあります。ムービーは水平位置にしてください。

横長テレビに対応して撮る

マルチワイドビジョン（16:9の横長テレビ）に対応した撮影モードです。
マルチワイドビジョンの取扱説明書もお読みください。

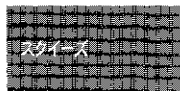


1 ‘スクイーズ入’ にします (メニューの使い方 10)

- 設定ボタンを押すと表示が消えます。

2 スタート/ストップボタンを押す

- スクイーズ撮影が始まります。



ビューファインダー内

- もう一度押すと撮影一時停止になります。

撮影が終わったら
‘スクイーズ切’ に戻します

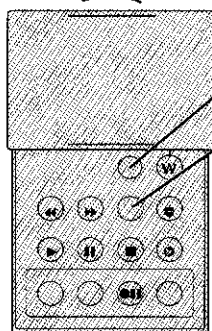
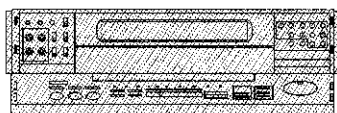


マルチワイドビジョン対応スクイーズ識別信号について
スクイーズで撮影すると、特殊な信号（識別信号）が記録されます。識別信号を判別する機能付きマルチワイドビジョンとムービーをSビデオケーブルでつないだときは、再生時に自動的に横方向が広がり、自然な感じで再生します。

- ・自動判別できないマルチワイドビジョンでは手動で切り替えてください。
- ・識別信号はダビングできません。ダビングしたテープを再生するときは手動で切り替えてください。
- ・スクイーズ（フルモード）対応デッキにダビングするときはSビデオケーブルでつなぐとスクイーズ信号で記録できます。
- ・通常のテレビで再生すると縦長の映像になります。

ダビング編集

付属のリモコンで自動編集ができます。あらかじめ、リモコンにデッキのメーカー設定をしておきます。
(ビクター以外のデッキにもメーカー設定できるものがあります。)



設定ボタン

1 2

ビデオボタン

リモコンでデッキの操作もできます。デッキのメーカー設定ができたならこのボタンを押しながらデッキを操作しないボタン類をデッキに向けて押します。

一部、設定できないデッキもあります

メーカー設定できたら → 自動編集のしかた (56)
メーカー設定できなかったら → 自動編集以外のしかた (55)
へ進んでください。

メーカー設定をする

- リモコンの信号の種類は複数あります。
Aを設定→動作確認
デッキが動作しないときは
Bを設定→動作確認
の手順でデッキが動作するメーカー設定をしてください。
- デッキの電源は切って始めてください。

1 リモコンをデッキに向け
設定ボタンを押しつつ
希望メーカーAのメーカー設定を
aボタン、bボタンの順に押す

2 設定ボタンを離します
●デッキの電源が入ったら終わりです。

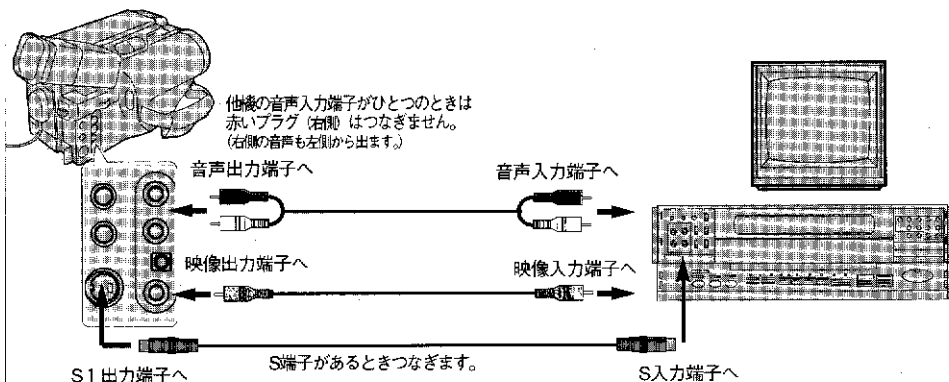
- リチウム電池が消耗したり、電池交換をしたときは、再度メーカー設定してください。

メーカー設定表

メーカー名	メーカー設定ボタン		メーカー名	メーカー設定ボタン	
	a	b		a	b
ビクター	A: ビデオ準備	巻戻し	ソニー	D: ビデオ	巻戻し
	B: ビデオ準備	停止		A: 停止	ビデオ準備
	C: ビデオ準備	ビデオ		B: 停止	巻戻し
アカイ	A: 停止	早送り	NEC	A: ビデオ	早送り/ストップ
	B: 停止	再生		B: ビデオ	修正
	C: 早送り/ストップ	早送り/ストップ		A: 停止	停止
サンヨー	A: ビデオ	停止	日立	B: 停止	ビデオ
	B: ビデオ	一時停止		A: 早送り/ストップ	ビデオ
	C: ビデオ	入/切	松下	A: 巻戻し	ビデオ
	D: 早送り/ストップ	ビデオ準備		B: 巻戻し	早送り/ストップ
シャープ	A: 巻戻し	一時停止		C: 巻戻し	巻戻し
	B: 巻戻し	入/切		D: ビデオ準備	再生
ソニー	A: 停止	一時停止	三菱	E: 巻戻し	修正
	B: 停止	入/切		A: 停止	早送り/ストップ
	C: ビデオ	ビデオ準備		B: 停止	修正

リモコンを使わないで、もう一本同じテープを作ったり、好きな場面だけを集めてオリジナルテープを作るダビングのしかたです。

接続のしかた



1 デッキを録画一時停止にする

2 ムービーを再生する

3 ダビングしたいところでデッキの録画をスタートさせる

↓
ダビング中、カットしたいところはデッキを録画一時停止にする

編集を終えるには
停止ボタンを押す



準備

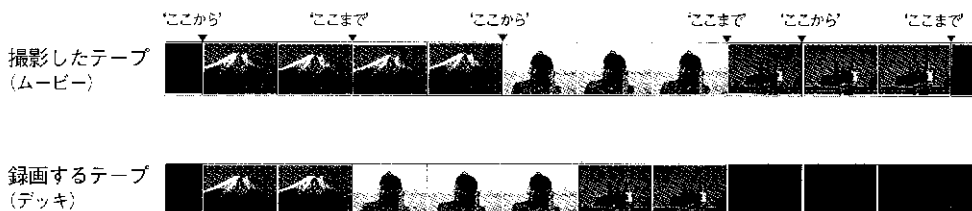
- ・ムービーとデッキの接続と外部入力切り替えをする。
(37)
- ・撮影したテープをムービーに、録画するテープをデッキに入れる。

録画一時停止が5分以上続くとテープ保護のため停止します。きれいにすぐにはダビングした最後のところまで再生し、一時停止にします。その後、録画一時停止にしてください。



自動編集 ーダビングするところを選ぶー

撮影したテープを見ながらリモコンの「ここから/ここまで」ボタンを押し、ダビングしたいところを選びます。(1回の予約で8つの登録ができます。)



1 ムービーの電源ダイヤルを再生にし
リモコンの入/切ボタンをムービーに
向けて押す

2 入りたい場面の最初(ここから点)をきめる
ムービーを再生し、画面を見ながら
ここから/ここまでボタンをムービー
に向けて押す
●ビューファインダー内に、ここから点のカウンター
値が出ます。

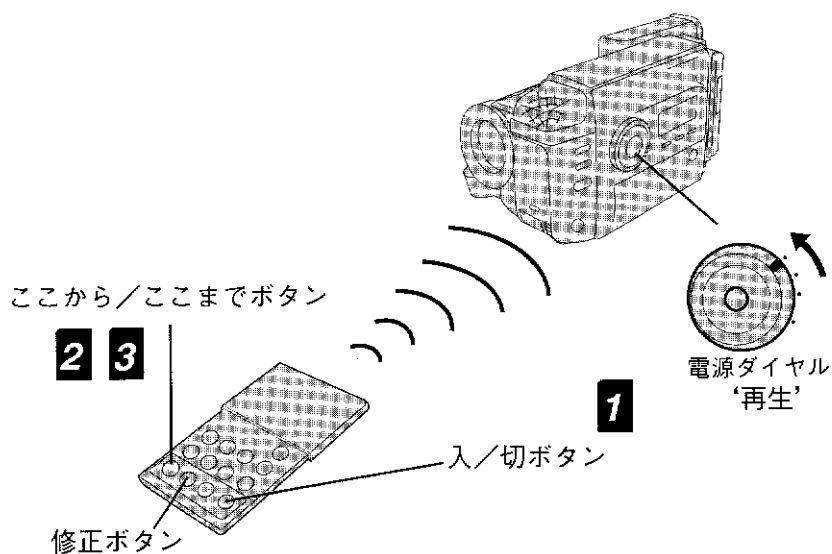
3 入りたい場面の最後(ここまで点)をきめる
編集したい場面の終わりで
ここから/ここまでボタンをムービー
に向けて押す
●ここまで点のカウンター値がでます。
●2と3の繰り返しで8つまで登録できます。

4 入りたい場面の付近まで巻き戻し
ムービーを一時停止にする



準備

- ・デッキの外部入力を切り替える。(37)
- ・撮影したテープをムービーに、録画するテープを
デッキに入れる。
初めに58の接続をすることをおすすめします。
カウンター値をテレビで確認できます。
- ・ムービーの電源はチャージビットを使用します。
(途中で電源を外すと登録したものが消えます。)



撮影したテープをまるまる一本ダビングするときには

2のここから点をきめた後4の手順にうつります。

入りたい場面を早く探すには

早送りまたは巻戻しボタンで探し、入りたいところで一時停止ボタンを押します。

登録したものを修正するには

修正ボタンを押すごとに最後に登録したカウンター値から順に消えます。



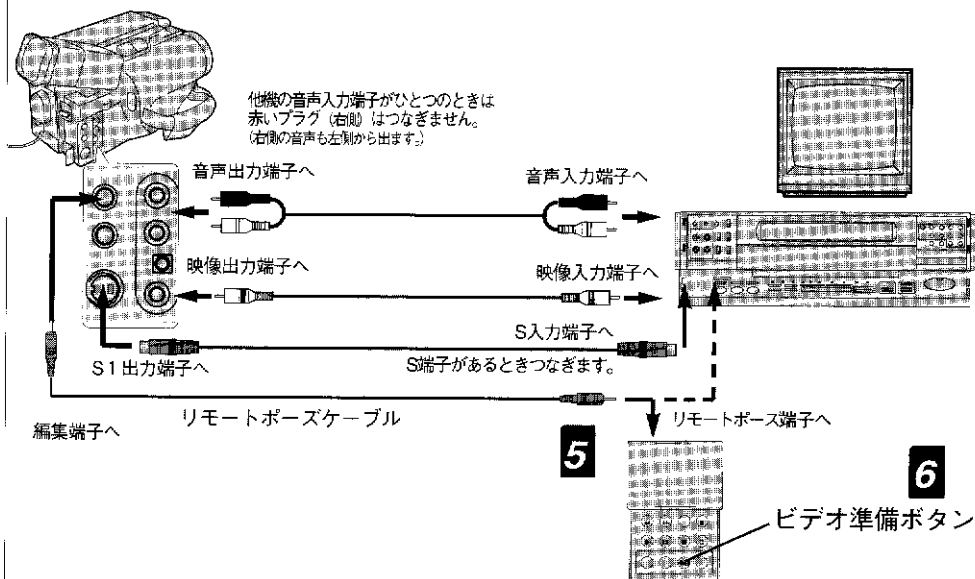
- ここまで点のカウンター値は、ここから点より大きい値でのみ設定できます。
- ここまで点と次のここから点までの早送り時間がデッキの一時停止保持可能な時間を越える場合は編集できません。
- 無記録部分には登録できません。
- 入/切ボタンで切にすると登録した内容が消えます。
- メニューのリモコン '入' にしてください。
(出荷時は '入' になっています。)



自動編集 — ダビングを始める —

ムービーとデッキを接続したらダビングを始めます。

接続のしかた



5 リモートボーズケーブルをリモコンに差し込む

6 リモコンをデッキのリモコン受光部に向けて置き

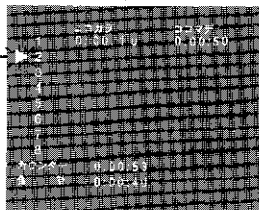
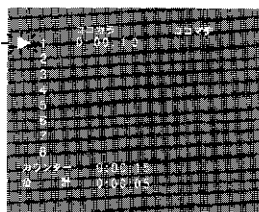
ビデオ準備ボタンを押す

- デッキが録画一時停止になることを確認してください。
- リモコンは動作する場所に置いてください。

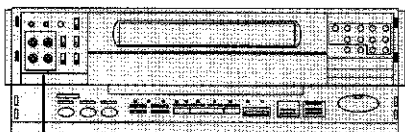
7 ムービーの編集ボタンを押す

- 登録した順に編集が始まり最後のここまで点まで自動的にダビングします。
- ダビングが終わるとムービーは一時停止。デッキは録画一時停止になります。
- ここまで点をきめなければテープの最後まで自動的にダビングします。

終わったら
ムービーとデッキを停止させる

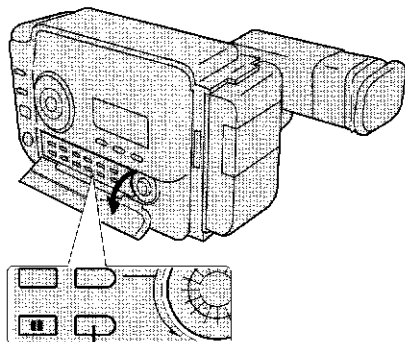


ビクターのリモートボース端子付きデッキの例



リモートボース端子

(端子の位置は機種によって異なります。)
この端子のあるデッキのときはリモートボース
ケーブルをここに差し込みます。



編集ボタン

7



デッキがビクターのリモートボース端子付きの場合は
5のケーブルをデッキのリモートボース端子に差し込みます。

リモコンでデッキの操作もできます

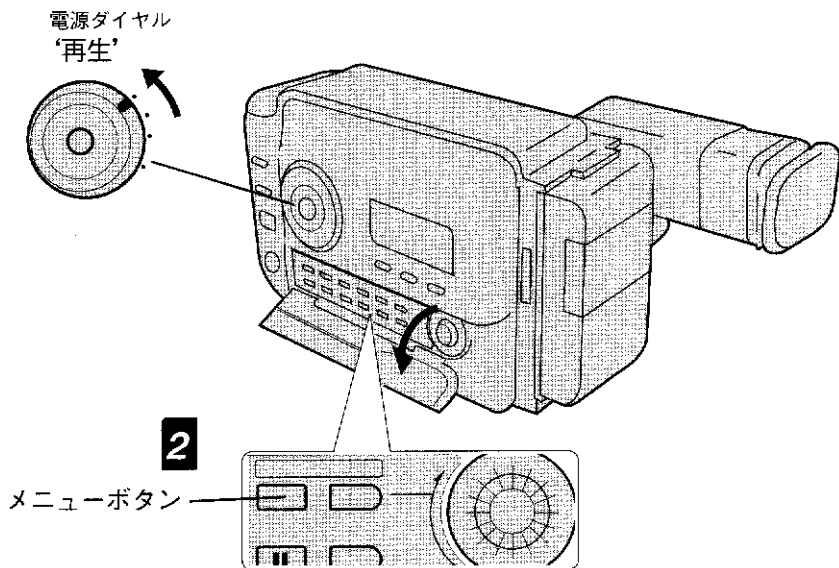
リモコンのビデオボタンを押しながらデッキを操作したい
ボタン類をデッキに向けて押します。



- ・ダビング中はリモコンをデッキの受光部に向けて置いてください。さまたげるとダビングできません。
- ・ムービーのリモコン端子に別売のリモコンを差していると編集できません。
- ・ダビング中、ムービーを操作するとデッキは 録画一時停止になります。

インサート編集

録画済みテープの映像と Hi-Fi 音声を新しいものに入れ替えることができます。



1

テープを再生し
編集終わり点Aで
一時停止ボタンを押す

2

カウンターをリセットし
メモリー 'スル' を選ぶ
(メニューの使い方 10)



●ビューファインダー内にM 0:00:00 が出ます。

3

編集を始めたい少し前まで巻き戻し
再生する
始まり点Bで
一時停止ボタンを押す
●静止画になります。

4

リモコンの
インサートボタンを押したまま
一時停止ボタンを押す

●同時にノーマル音声もインサートするには
続けてアフレコボタンを押したまま一時停止
ボタンを押す。

●ビューファインダー内に **II** または **II** が
出ます。

5

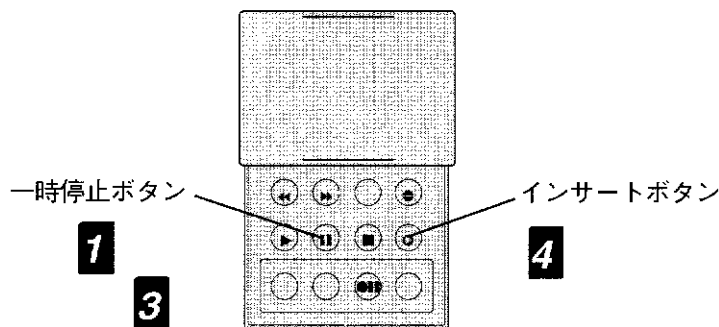
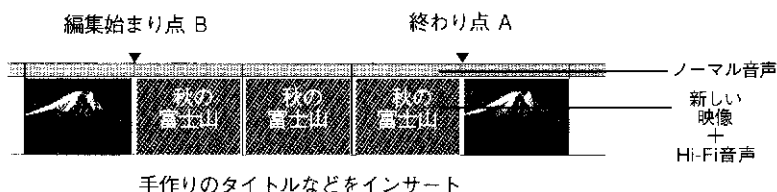
スタート/ストップボタンを押し
インサートしたい映像/音を撮る

●編集が始まります。

● **▶** または **▶** が出ます。

●一時止めるにはスタート/ストップボタンを
押します。

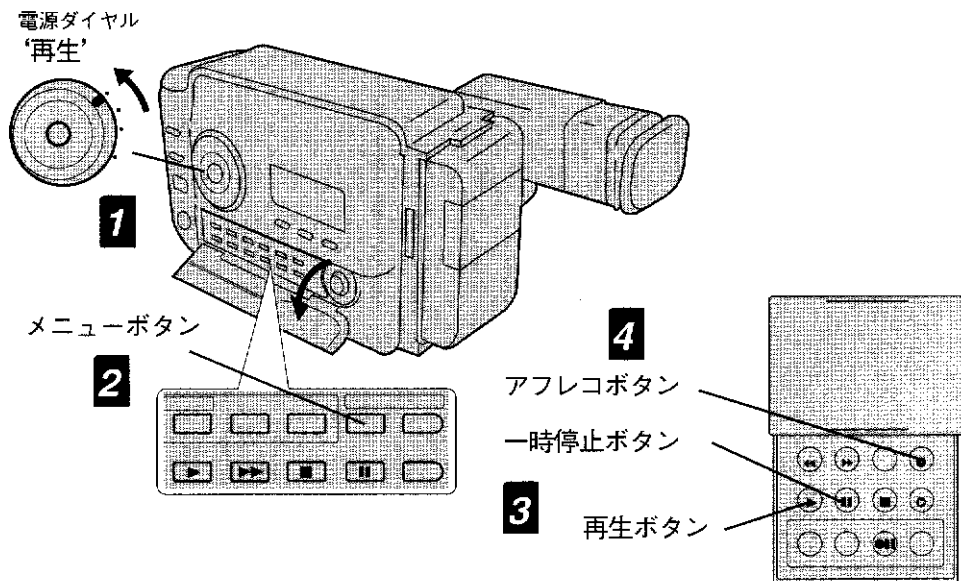
A点にくると編集が終わり
再生状態になります



- ・一時停止が5分以上続くと電源が切れます。再度電源を入れてください。
- ・編集点でズれることがありますがお断りではありません。
- ・インサートの途中でモード (SP/EP) を変えると場面が乱れますのでご注意ください。
- ・メニューの 'リモコン入' にします。
(出荷時は入になっています。)
- ・スクイーズで撮ったテープは同じモードで撮影してください。
- ・シーンダイヤルでの撮影はインサートできません。

アフレコ編集

録画済みテープに音声（ノーマル）のみを後から録音することができます。



- 1 テープを再生し
編集終わり点 A で
一時停止ボタンを押す

- 2 カウンターをリセットし
メモリー 'スル' を選ぶ
(メニューの使い方 10)



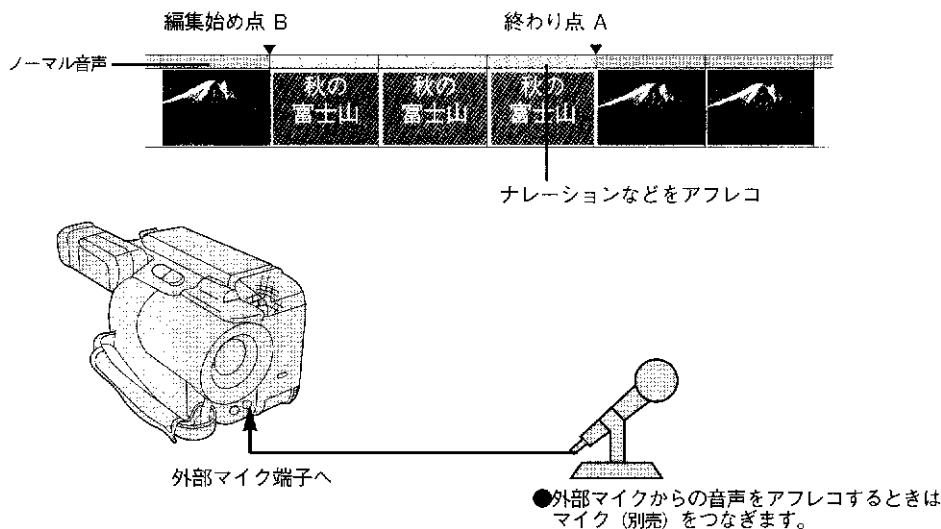
●ビューファインダー内に00:00:00 が出ます。

- 3 編集を始めた少し前まで巻き戻し
再生する
始まり点 B で
一時停止ボタンを押す
●静止画になります。

- 4 リモコンの
アフレコボタンを押したまま
一時停止ボタンを押す
●ビューファインダー内に || ● が出ます。

- 5 再生ボタンを押し
ナレーションなどを記録する
●編集が始まります。
●● が出ます。
●一時止めるには一時停止ボタンを押します。

A点にくると編集が終わり
再生状態になります



音声について

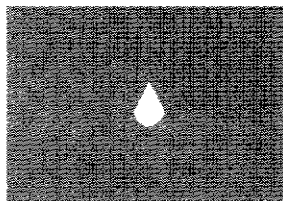
音声はメニューの音声出力切替できたいものを選んでください。(10)

- ▶HIFI →アフレコする前の音声
- ▶ミックス→アフレコ前の音声+アフレコ後の音声
- ▶ノーマル→アフレコ後の音声



- ・一時停止では約5分で電源が切れます。再度電源を入れてください。
- ・テレビが「ピー」「ウワ〜ン」というノイズを出すときは、マイクをテレビから離すか、テレビの音量をさげてください。
- ・メニューの「リモコン入」にします。(出荷時は入になっています。)

つゆつきについて



ビューファインダー内につゆつきマークが出たらムービーは停止します。

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに徐々に水滴が付きます。この状態を「つゆつき」といいます。

ビデオの心臓部であるヘッドドラムの周りに徐々に水滴が付き、ビデオテープが貼り付いてテープを傷めてしまいます。

「つゆつき」状態になると、つゆつきマークが表示され、ムービーは停止し再生や録画ができません。数時間待ってマークが消えてからご使用ください。

つゆつきはこんなときにおこります

- ムービーを寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
- 湿気の多いところでの使用時。
- 暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるとき。



- ・つゆつきはレンズにもおこります。このとき、きれいに撮影できません。つゆつきがなくなってから撮影してください。
- ・通常、つゆつきは徐々に進行し、10～15分間は現象が現われないことがあります。
- ・寒冷地域では露が凍結し、霜になることがあります。この場合、さらに時間がかかります。

ビデオ機器は精巧に作られた精密機械です。
十分に注意してお取り扱いください。

取扱上の注意

あなたがビデオで録画、録音したものは、個人として楽しむなどはかまいませんが、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(なお、録音や録画、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場所がありますのでご注意ください。)

安全にお使いいただくために

以下のことにご注意ください。危険なうえ、故障の原因になります。

- キャビネットは、はずさない。
- 内部に金属類や燃えやすいものなど、差し込まない。
- 雷が近いときは使用しない。
- 衝撃を与えない。
- ムービーのレンズを直接太陽に向けない。
 - 強い光線、反射物、高輝度の被写体にもご注意ください。
- チャージピットなどの電源コード類に傷をつけない。
 - 電源コードプラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持っておこない、使用しないときは電源コードをコンセントから抜いてください。

使用場所の注意

以下の場所での使用、放置は故障の原因となるのでお避けください。

- 湿気や油煙、ほこりの多い場所。
 - 砂浜などでの使用は内部に砂や海水が入らないように、また雨天、降雪中の使用では、濡らさないようにご注意ください。
- 温度が高い場所。
 - 直射日光のあたる場所や暖房の近く。窓を閉めきった自動車の中。
(周囲温度0～40℃の範囲、湿度は35～80%内の場所で使用されることをお勧めします。)
- 強い電波や磁気の発生する場所。

テープの注意

- 録画済みテープに新しく録画すると、前の映像と音は自動的に消えます。
- テープは裏返しでは使えません。
- テープを走行させないでテープの出し入れを繰り返さない。

保管の方法

- ふだん使用しないときはテープを出し、電源を切りバッテリーパックを外しておいてください。
●機内に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れ、チェックしてください。
- テープはケースに入れ、カビの発生しないところに立てて保管してください。

リチウム電池の注意

- 充電、ショート、分解、加熱、火に投入しないでください。
- ピンセットなどの金属物で絶対につままないでください。
- 交換用電池（CR2025 または相当品）は最寄りの電気店またはカメラ店で求めください。
- 電池は約1年毎に交換してください。
（約1年に満たないうちに切れることがあります。）

自動追尾の特性

色を判別して追尾するので誤動作することもあります。
以下のことに注意し、必ず事前に試し撮りをしてからお楽しみください。

- 屋内から屋外と場所が変わったら再設定してください。
設定場所の光源を基本とするためです。
- 赤や青などハッキリした色で設定してください。無彩色（白や黒なども）や薄い色は追尾できません。
- 色を感知できない場所ではできません。（逆光、白とびや暗い場所など）
- 背景に同色が多くあるときは違う色で設定してください。
明るさによっては、違う色でも同じ色に、また同じ色でも違う色と感知してしまうこともあります。
- 追尾中、画面内で被写体が小さくなりすぎると追尾できません。
- 登録ボタンは続けて押さないでください。（押す場合は、30秒以上間をおいてください。）
- このムービーの白バランスは自動で合わせていますが、色追尾中は登録ボタンを押した時の状態で固定します。試し撮りの際、色合いが赤かったり、青かったりした場合、もう一度、登録しなおしてください。

お手入れについて

●お手入れのときは、電源ユニットを外して行なってください。

ボディの汚れは

乾いた柔らかい布などで拭きとってください。

ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤に布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんや洗剤をご使用の際は、その注意書に従ってください。



カメラのレンズはいつもきれいに

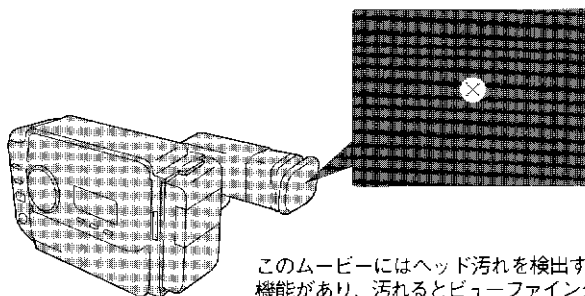
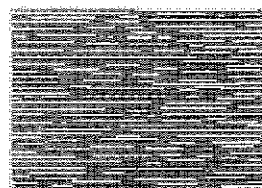
レンズのプロワーでほこりを落とし、レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。汚れたままでは、カビなどが発生する場合があります。

ビデオヘッドの汚れについて

テープ再生時に、左のような症状が出たらヘッドの汚れによるものです。クリーニングカセット TCC-2(別売) を使ってヘッドを清掃してください。
クリーニングカセットの取扱説明書もお読みください。



末期状態



このムービーにはヘッド汚れを検出する機能があり、汚れるとビューファインダー内に ⊗ マークが出ます。

ビデオヘッドは摩耗します

ヘッドをクリーニングカセットで清掃しても鮮明な映像が映らない場合はチェックまたは交換が必要です。お買い上げ販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

症 状	処 置	参 照 ページ
ムービーの電源が入らない	●電源ユニットは正しく接続されていますか。 ●バッテリーパックは充電されていますか。	12
録画ができない	●ツメなしテープで撮影していませんか。 ■ツメの部分にセロハンテープを貼ってください。 ●電源ダイヤルが‘再生’になっていませんか。 ■電源ダイヤルを‘撮影’側に合わせてからスタート/ストップボタンを押してください。	27 24
いろいろな機能のボタン類を押してもきかない	●電源ダイヤルが‘フルオートロック’になっていませんか。 ■応用編の機能の中には電源ダイヤルを‘マニュアル’にして使うものがあります。	25
オートフォーカスが正常に働かない	●フォーカスが‘手動’になっていませんか。 ●暗い所やコントラスト（明暗差）のないものを撮影しませんでしたか。 ●ビューファインダーの視度調節を合わせましたか。 ●レンズにゴミやホコリ、水滴などが付いていませんか。 ■レンズクリーニングペーパーなどで清掃してください。	48 21
テレビで映すと被写体が黒っぽくなってしまう	●逆光で撮影しませんでしたか。 ■シーンダイヤルの逆光で撮影してください。	40
ビューファインダー内の映像の色が赤っぽい	■寒い所で使用するとビューファインダーの特性で赤っぽくみえます。録画される映像と色が多少異なりますが故障ではありません。	—
ビューファインダーの画像が出ない	■電源をもう一度入れなおしてください。	—
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	■大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
再生、巻戻し、早送りができない	●テープが終わりまでいっていませんか。 ●電源ダイヤルが‘撮影’側になっていませんか。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していませんか。	32
早送り、巻戻し中に途中でテープがストップする	●カウンターメモリーがセットされていませんか。 ■メニュー表示を出してからカウンターメモリー‘シナイ’にしてください。	35
自動追尾撮影がうまくいかない	■色を判別して追尾する特性上、誤動作することがあります。ハッキリした色で再度設定してください。	66

症 状	処 置	参 照 ページ
リモコンがきかない	■メニュー表示がリモコン「切」になっていませんか。 ●リモコン「入」にしてください。	10
画面、Hi-Fi音声にノイズ がでる	■トラッキング調節をしてください。 メニュー表示を出してオートトラッキング「切」にし、ズームスイッチで合わせます。	33
テレビはきれいに映るが、 テープを再生するとザラザラな 画面になったり、消えてしまう	■ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。 クリーニングカセット(TCC-2)を使ってクリーニングしてください。 ■お買い上げの販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。	67
テープは回っているが、再生 しない	●テレビのチャンネルがビデオ専用チャンネル1か2になっていませんか。 ●AV端子付きテレビの場合は、テレビのチャンネルを「ビデオ」にする。	36 39
録画、再生ができない	●ビューファインダー部につつきマークが出ていませんか。 ■つつきがおきています。数時間まってからお使いください。	64
録画中、ビューファインダー 内にヘッド目づまり⊗マーク が表示されたら	■ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。 クリーニングカセット(TCC-2)を使ってクリーニングしてください。 ■お買い上げ販売店、またはビクターサービス窓口にご相談ください。	67
ビューファインダー内に E01～E06 などが表示 された	■ムービーに異常が発生したとき、拡大故障を防ぐため動作を停止させます。お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。	—



電源ユニットを外すときのご注意

録画中や再生中に電源ユニットを外さないでください。テープを傷める原因になります。

このムービーはマイコンを使用しています

外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんな時はムービーから電源ユニット（バッテリーパック、ACアダプター、リチウム電池など）を一度外してから、改めてご使用ください。

用語の解説

■ 内のページに説明があります。

ア

アフレコ編集 62

撮影済みテープの音だけ後から入れ替えることです。

インサート編集 60

撮影済みテープの一部に別の映像と音を入れ替えることです。

ACパワーアダプター 12

バッテリーパックを充電するときに使います。また直接ムービーにつないでご家庭のコンセントから電源をもらいます。

SP / EP 22

テープに撮影できる時間を示すものでEPは、SPの3倍の長さです。

オートストップ機能 27

ストップしわすれて地面ばかりを撮ってしまうことを防ぎます。

オートディスプレイ表示 46

電源ダイヤルをフルオートロックにして撮影するとあらかじめ選んである日時モード表示を5秒間だけ自動的に記録できます。

オートパンニングシステム 52

一定の場所にムービーを置き左右にゆっくりと動かし、場面をくまなく撮ることができます。

オンスクリーンモード 45

ムービーとテレビをつないでムービーの電源ダイヤル「マニュアル」にし、日時表示ボタンでオンスクリーンを選ぶと現在のビューファインダー内の表示をテレビで見ることができます。

カ

カウンターメモリ 35

早送り、巻戻しでテープが自動的に止まって便利です。インサートやアフレコ編集のときも使えます。

カセットアダプター 14

ムービーで撮影したテープをVHSデッキで見るときに使うと便利です。

カーバッテリーチャージャー 14

車のシガレットライターソケットを利用して車から電源をもらいます。

カメラリハーサル 37

停止状態でビューファインダーの映像を見ることがができます。構図を決めたり、撮影条件のチェックをするときに便利です。

クイックレビュー 30

撮影一時停止で記録されている内容を最後の2秒間再生して正常に撮影されていることを確認するための機能です。

サ

撮影一時停止 24

スタート/ストップボタンを押せば撮影がスタートする状態のことです。

自動追尾撮影 52

ムービーを一定のところに置き、撮影したい被写体の動きに合わせてムービーを左右に動かして撮影してくれます。

自動編集 54

再生画を見ながらリモコンの「ここから」「ここまで」ボタンで好きな場面をインプット。あとはボタン一つでムービーからデッキへ自動でダビングしてくれます。

視度調節 21

ビューファインダー内の映像がハッキリ見えるように、視力に合わせて調節することができます。

シネマモード 44

映画のように上下に黒の帯を入れたシネスコサイズで撮影することができます。

シーンダイヤル 40

撮りたい場面に合わせて、今までにない映像効果を楽しむことができます。

スクイーズモード 53

横長テレビに対応したモードです。

タ

チャージピット充電 12

いつでもムービーが使えるように、チャージピット充電すれば常に充電された状態になっていて便利です。ムービーを使用せずに約一ヵ月そのままにしても電気代は35円程度です。

つゆつき 64

ムービーの内部に温度変化などで水滴がつくことで、ビューファインダー内につゆつきマークが出るとムービーは停止します。

トラッキング 33

再生画にノイズが出ることがありますが、これはビデオヘッドが記録された部分を正確になぞっていないためです。これを補正するのがトラッキング調節です。

トラベルデート 45

海外旅行など数日にわたる撮影でも、一目で撮影日と何日目かがわかります。

ナ

20倍デジタルズーム 28

電子ズームを使って遠くのを画面一杯に撮ることができます。

ハ

バッテリーアラーム 27

バッテリーパックの充電容量が少なくなると点滅します。交換時期の目安として使います。

ピント合わせ 48

このムービーには「自動」と「手動」の2つがあります。

フェードイン／アウト 42

真白な画面から映像が徐々に現われるフェードイン、徐々に消えるフェードアウト。また黒の画面のワイプフェーダーを作品の頭や終わりに使うと効果的です。

ボイスポジション 22

さわがしいところでの撮影で、被写体の声をはっきりさせたいときに使います。

マ

マクロ 29

小さなものを大きくしたいときグリーンと近づいて撮影できます。

ラ

リチウム電池 17

日付、時刻、年齢の表示に必要な電池です。また付属のリモコンにも電池として使っています。

リテイク 30

撮影一時停止中に、正／逆転再生して再び撮影を始めたところを探すのに便利です。

リフレッシュ機能 12

バッテリーパックの容量を回復させる機能です。チャージピットや一部のバッテリーパックにこの機能が付いています。

ハ

ワイド撮影 28

レンズ切り替えすることで広大な風景や奥行きのない場所で広い範囲を撮ることができます。

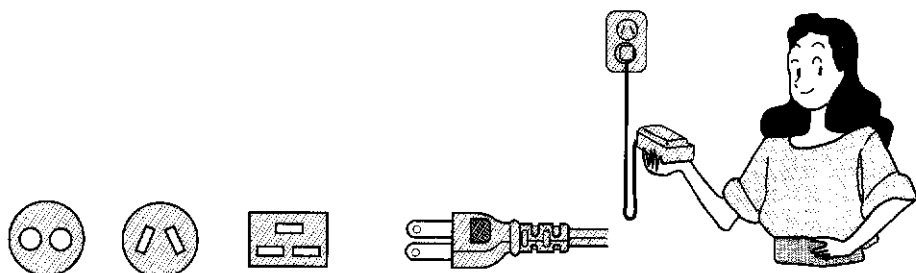
海外でお使いになるには

このムービーは外国でもお使いになれます

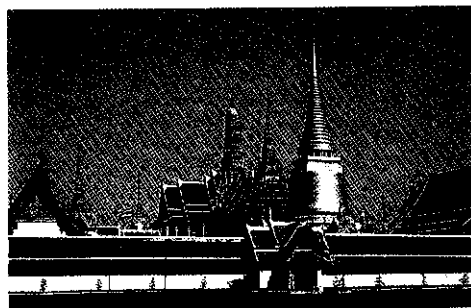
チャージピット (例) はAC (交流) 100V ~ 240V、50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。またバッテリーパックの充電もできます。

ただし、電源コンセントの形状は国によって異なるため訪問国の電源コンセントに合った変換プラグ (空港売店で販売) が必要です。

くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。



海外の電源コンセントの種類	壁のコンセントの形状例						
	使用する変換プラグ	不要です。チャージピットのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など	主にオーストラリアなど	主にヨーロッパなど			



日本と同じNTSC方式の国です

- ボリビア ●アメリカ合衆国
- グアテマラ ●エクアドル
- コスタリカ ●エルサルバドル
- コロンビア ●カナダ
- スリナム ●キューバ
- ハイチ ●グアム
- パナマ ●韓国
- バハマ ●チリ
- バルバドス ●ドミニカ
- ミャンマー ●トリニダード・トバゴ
- ベトナム ●ニカラグア
- フィリピン ●バミューダ
- ホンジュラス ●プエルトリコ
- ミクロネシア ●ベネズエラ
- メキシコ ●ペルー
- 台湾 ●米領サモア



現地のテレビで見るには
NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが
必要です。

再生できるテープは
日本と同じNTSC方式で撮影したものです。



海外で万一故障した場合は
持ち帰った後、お買い上げ販売店にご相談ください。
(外国でのアフターサービスについてはご容赦ください)

保証とアフターサービスについて

保証書について

保証書記載内容の確認と保存のお願い
この商品には、保証書を別途添付しています。
保証書はお買い上げ販売店でお渡しします。所定事項の記入や記載内容の確認をし、大切に保存してください。
製造番号は品質管理上重要です。お買い上げの際はムービーの製造番号が正しく記されているか、また保証書に記載されているものと同じか確認ください。

保証期間は
お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。

アフターサービスのお問い合わせ先

保証期間経過後の修理については
お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

補修用性能部品の保有期間について
当社は、このムービーの補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年保有しています。

修理を依頼されるときは

故障かなと思ったときは
68～69 ページをよくお読みのうえ、故障かどうかお調べください。

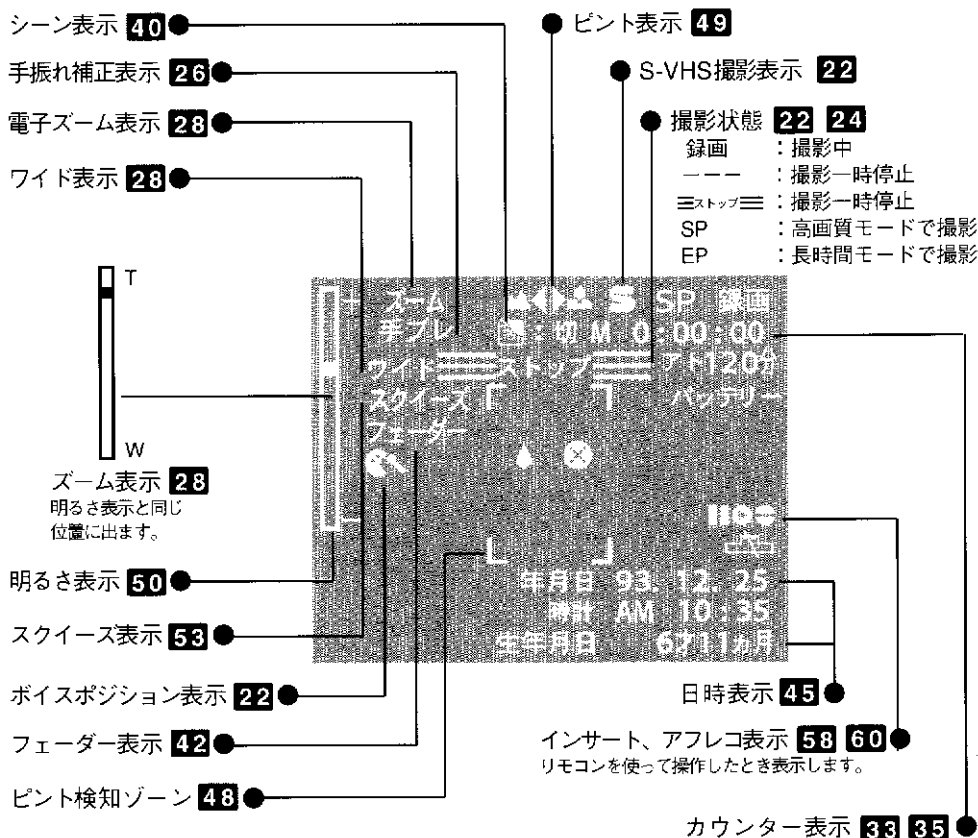
ムービーが異常なときは
異常な音や煙がでるとき、また画が出なくなったときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

美しい画面をご覧いただくための点検のおすすめ

ムービーは非常に高い精度を必要とする機械です。特にビデオヘッドやテープを動かす機械部品は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしています。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、おおよそ1000時間をめどに、点検整備されることをおすすめいたします。

ビューファインダーの表示

撮影中・再生中などの表示



警告表示

表示	表示名と説明	表示	表示名と説明
	リチウム電池 (時給1用) 表示 17 電池が入っていないか容量が少なくなっています。		テープ表示 テープが入っていないか、ツメなしテープで撮影ができません。
	バッテリーアラーム表示 27 バッテリーパックの充電容量が少なくなっています。		テープおわり表示 録画中テープが終わると表示します。
	つゆつき表示 64 つゆつきが発生しています。		異常警告表示 69 ビクターサービス窓口へ。
	ヘッド目づまり表示 67 録画開始時、ヘッドにゴミ付きが発生すると表示します。		

主な仕様

●ビデオムービー

電源	: DC6V
消費電力	: 8.5W (オートフォーカス時) / オートパンニングシステム使用時 9.1 W
信号方式	: NTSC 日米標準信号
録画方式	: S-VHS / VHS 規格
使用テープ	: S-VHS / VHS マークのついたテープ
テープ速度	: 標準(SP)モード 33.4 mm/秒、3倍(EP)モード 11.1 mm/秒
録画時間	: 最大 90分 (ST-C30 使用時)
早送り・巻戻し時間	: 約 8分 (高速時約 3分) (ST-C30 使用時)
撮像素子	: 1/3インチ CCD 固体撮像素子
レンズ	: 10倍ズーム $f = 6 \sim 60$ mm ワイド $f = 4.5 \sim 7.2$ mm オートフォーカス付 / フィルター径 52 φ
ビューファインダー	: 0.7型カラー電子ビューファインダー
最低照度	: 7 LUX
白バランス調整	: TTL式白バランス方式
アイリス	: オートアイリス (手動調節付き)
映像出力	: 1Vp-p 75 Ω
音声出力	: -6dBs (Low)
専用マイク	: コンデンサタイプ / ステレオ
外部マイク端子	: 3.5 φ -68dBs (High)
リモコン端子	: 3.5 φ
許容動作温度 / 相対湿度	: 0~40℃ / 35~80%
許容保存温度	: -20~50℃
外形寸法	: (幅) 112× (高さ) 115× (奥行) 238mm
重量	: 撮影時総重量 約 1100 g (バッテリーパック BN-V12) 本体約 930 g
付属品	: Sケーブル×1、音声ケーブル×1、映像ケーブル×1 リモートボースケーブル×1、ワイヤレスリモコン×1 リチウム電池×2、マニュアル×1

バッテリーパック	充電時間	連続撮影時間
BN-V12	約50分	約40分
BN-V22	約100分	約85分
BN-V60	約100分	約85分

●使用および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●AA-V30使用時 (バッテリーパックを直接充電したときの時間です。)

お客様ご相談センター

東京… ☎ (03)5684-9311 (代表)

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪… ☎ (06)765-4161 (代表)

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社
ビデオ事業本部